

豊後大野市の公共交通について



大分県豊後大野市役所まちづくり推進課



「交通実践セミナー in 広島

まちづくりと一体となった地域公共交通の維持・拡充を目指して」 資料

日にち：平成26年11月10日（月）

写 真：平成26年10月1日 実施 コミュニティバス社会実験「大人の社会見学」の風景



豊後大野市の概況

- ・位置 大分県南部（宮崎県と県境を成す奥豊後）
- ・合併 平成17年3月 旧大野郡5町2村合併
- ・面積 603.36 km²
- ・地形 市域の大半は丘陵と山林
- ・産業 農業（ピーマン（西日本一）
、甘太くん（かんしょ）など）
林業（乾しいたけ 全国トップクラスの量と品質）
- ・人口 39,452人
（平成22年国勢調査結果）
- ・交通 JR豊肥本線
民間路線バス

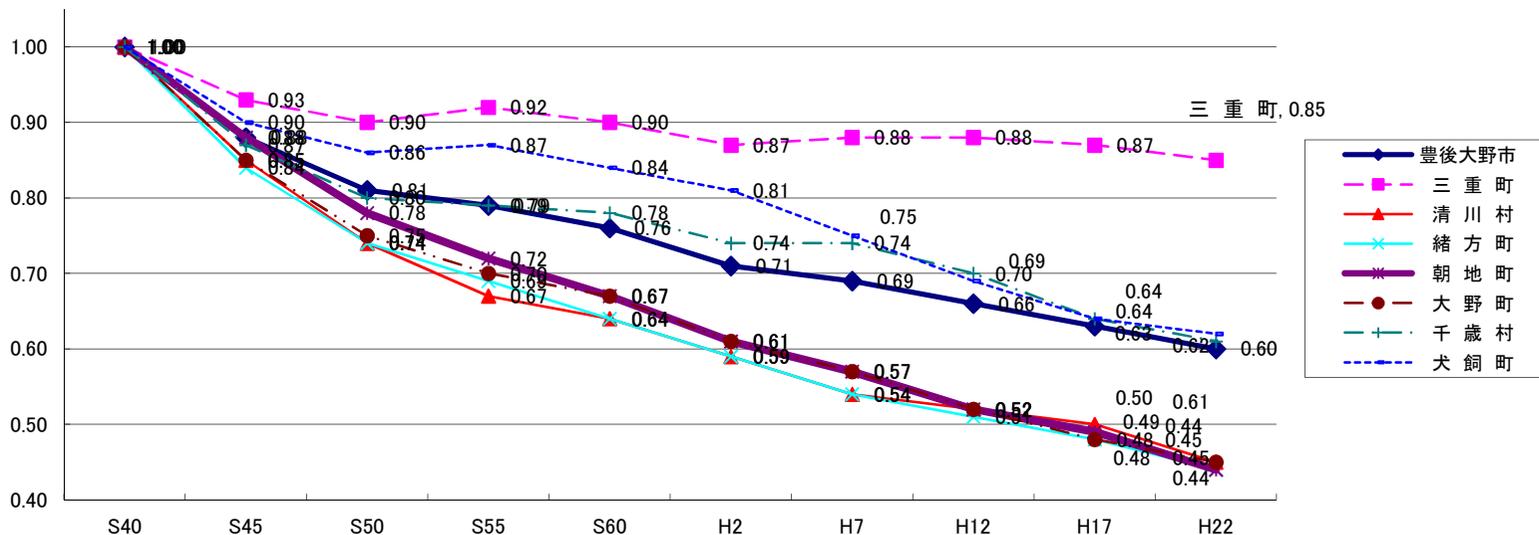
平成24年 日本ジオパークに認定





豊後大野市が抱える問題

- 人口減少…過疎化 -



		S40	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22
実数 (人)	豊後大野市	65,943	58,312	53,513	51,975	50,011	47,034	45,191	43,371	41,548	39,452
	三重町	20,753	19,358	18,731	19,001	18,726	18,011	18,267	18,241	18,058	17,614
	清川村	4,877	4,154	3,589	3,261	3,117	2,856	2,625	2,521	2,436	2,182
	緒方町	12,881	10,819	9,504	8,949	8,294	7,565	6,935	6,546	6,180	5,687
	朝地町	6,601	5,827	5,122	4,732	4,429	4,044	3,748	3,431	3,228	2,910
	大野町	10,620	9,068	8,015	7,440	7,070	6,508	6,009	5,533	5,133	4,739
	千歳村	3,733	3,259	2,978	2,951	2,911	2,780	2,760	2,611	2,382	2,276
	犬飼町	6,478	5,827	5,574	5,641	5,464	5,270	4,847	4,488	4,131	4,044

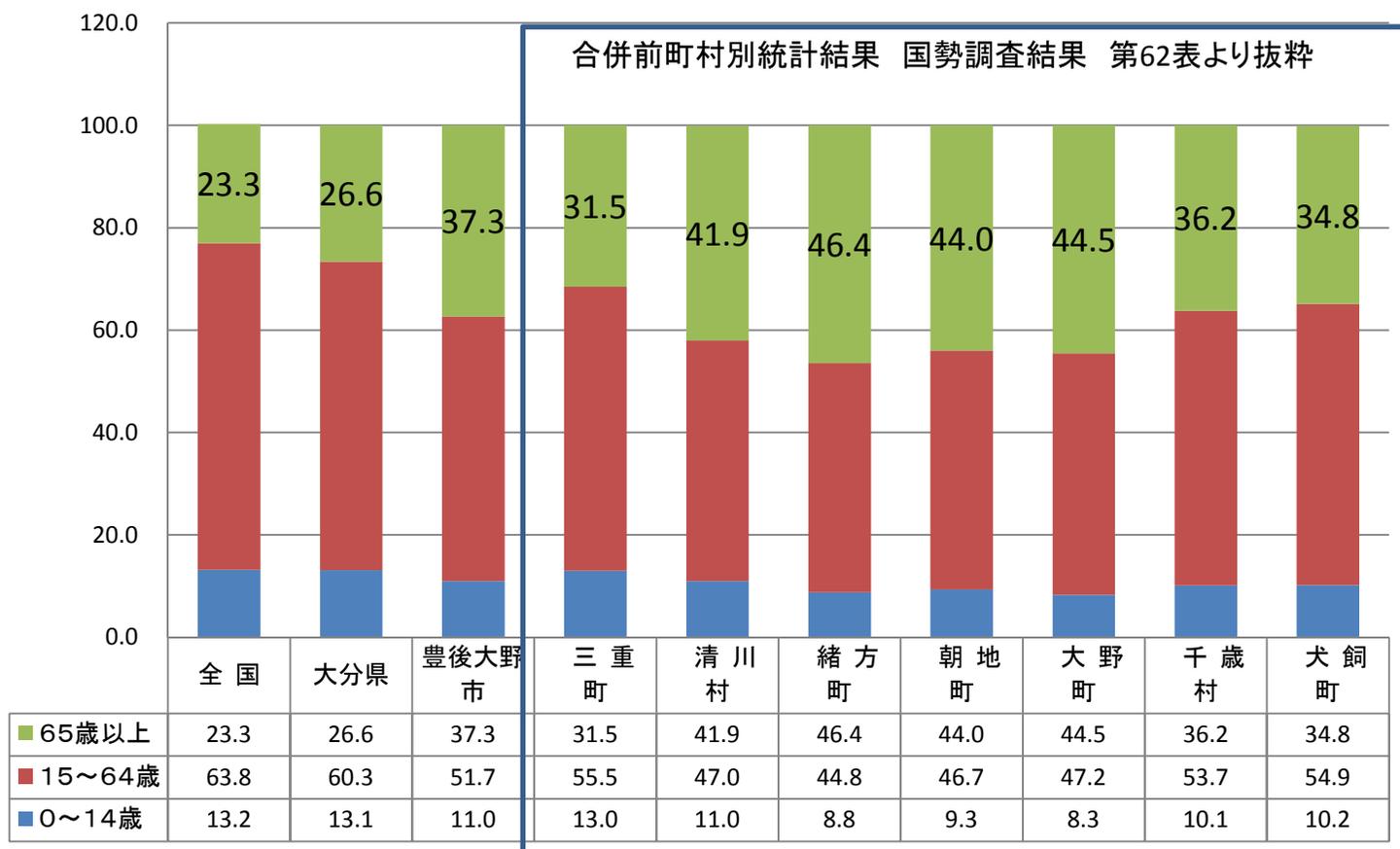
※平成17年3月 旧大野郡5町2村合併
45年間で人口は4割減少 地域によっては6割も減少



豊後大野市が抱える問題

- 高齢化 -

人口に占める年齢3区分割合(平成22年国勢調査結果)

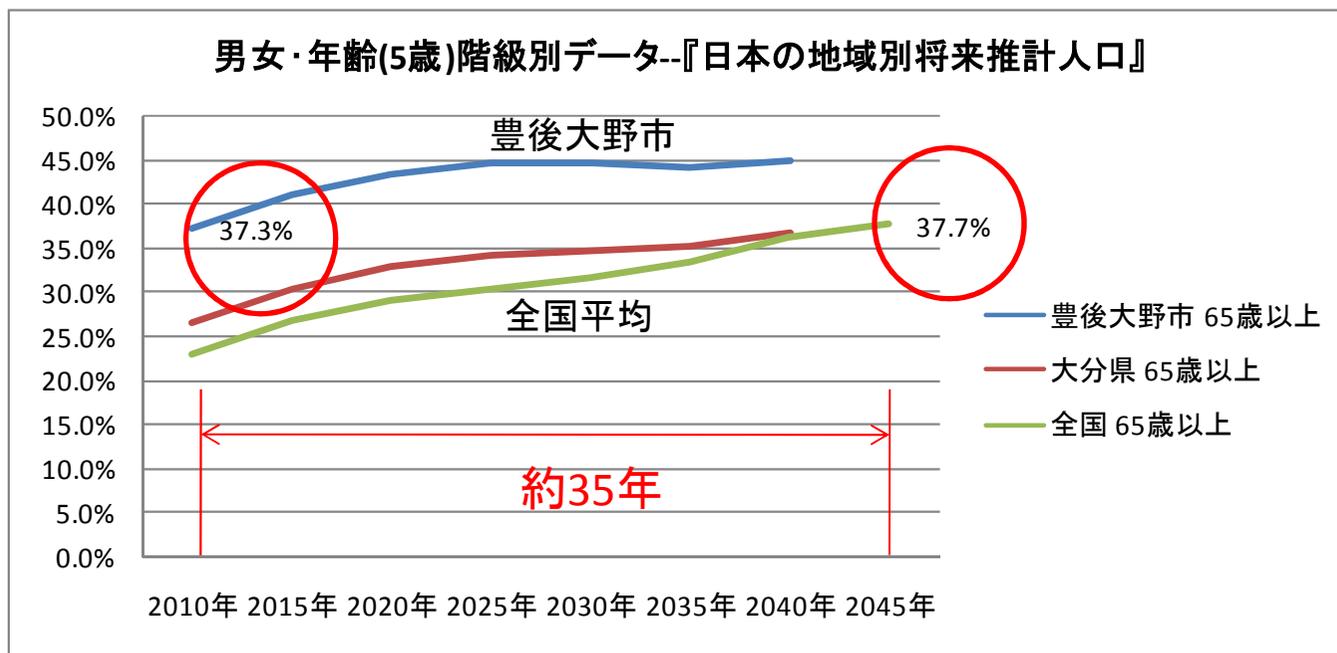


※1 人口に占める65歳以上人口の割合は、全国(790市)の中で15番目に高い。

※2 人口に占める75歳以上人口の割合は、全国(790市)の中で8番目に高い。



本市の高齢化の状況は日本の35年先を走っているといえる。全国の中でも特に進んだ過疎・高齢化社会に対応した交通弱者への対応は、本市にとって待ったなしの課題である。



高齢者人口割合の推移

区分	年代	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
全国	65歳以上	23.0%	26.8%	29.1%	30.3%	31.6%	33.4%	36.1%	37.7%
大分県	65歳以上	26.6%	30.3%	32.8%	34.1%	34.6%	35.2%	36.7%	
	75歳以上	14.2%	15.8%	17.4%	20.3%	22.1%	22.8%	22.7%	
豊後大野市	65歳以上	37.3%	41.1%	43.5%	44.7%	44.7%	44.3%	45.0%	
	75歳以上	22.7%	24.9%	25.8%	28.6%	30.6%	31.6%	31.2%	



市内地域別高齢化の状況

人口減少・高齢化(地区別)

公共交通を利用する高齢者を考えるに当たり、地区別の高齢化率（地区内の人口に占める65歳人口の比率）を算出した。高齢化率が高い集落は、免許保有者が低い地区に比べて低いことも想定されるため、一般的に公共交通へのニーズが高い地区であると考えられる。豊後大野市の町丁目字別高齢化率は、三重地区、清川地区、緒方地区、朝地地区、大野地区で50%を超える地区が多くあり、これら地区の公共交通の維持・確保に向けた検討が重要となる。

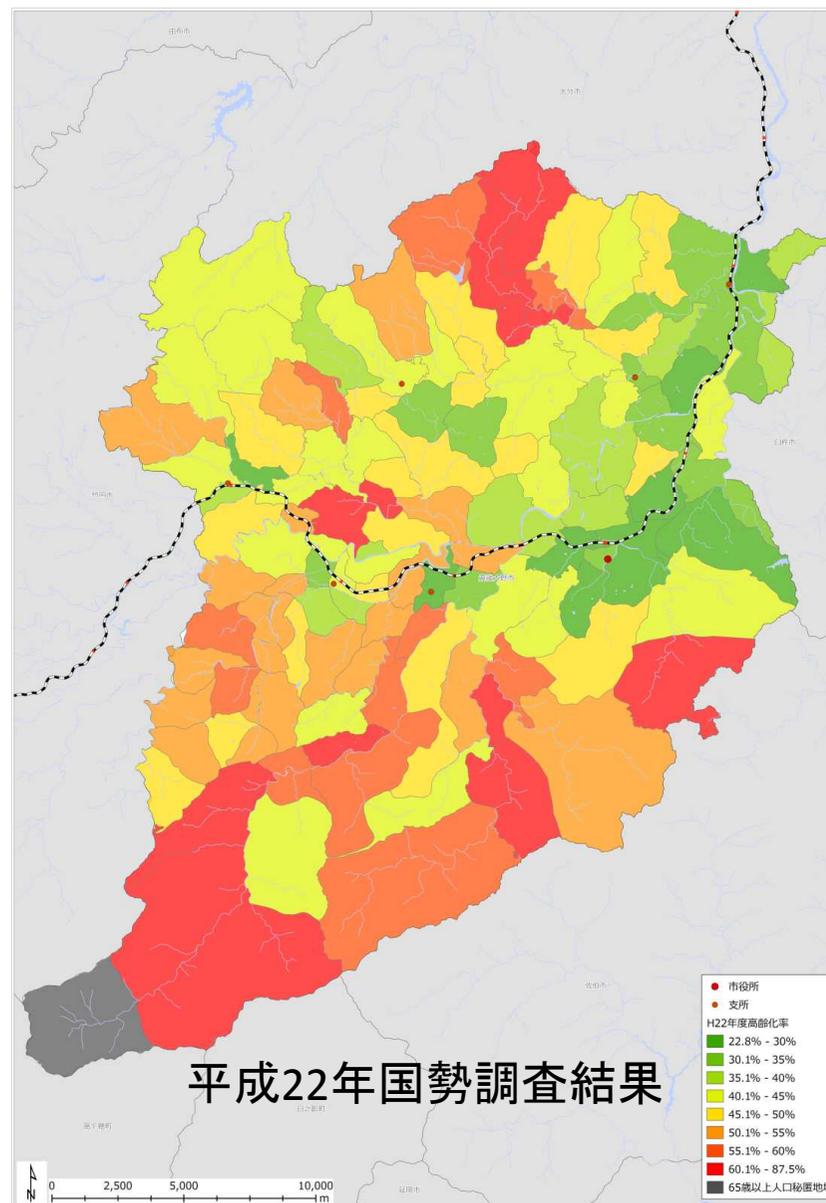


図 2.4 町丁目字別高齢化率

～平成26年度地域公共優良団体大臣表彰受賞者～ （大分県豊後大野市）

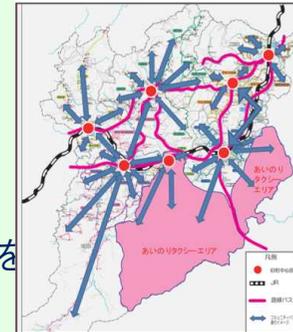
工夫されたバス停を表彰するコンテストの実施など、住民・事業者との協働によるバス利用促進に取り組むとともに、詳細な乗降データを活用し、運行見直し基準を見える化することにより、全国的にも高齢化が進んだ地域において、持続可能な公共交通ネットワークの構築を実現。



（取組みの概要）

1. 地域住民とのきめ細やかなコミュニケーション

- 高齢化（75歳以上の人口割合が全国の市の中で8位※）が非常に進んだ地域において、幹線・枝線の役割分担による公共交通ネットワークを構築
※ 2010年 国勢調査結果による
- 行政担当者がバス利用者やバス乗務員、集落などへきめ細やかなヒアリングを実施し、把握したニーズをダイヤに反映
- バス利用を市報、CATV等で発信し、お出かけ機会の創出、生きがいづくりに寄与



2. バス停コンテストの実施

- 特に利用者が多い地区や、地域の事業者による屋根・ベンチなどの自主的な環境整備の取組みに対し、市が表彰をする「バス停コンテスト」を創設



3. 運行見直し基準の見える化

- 運転士の協力により、コミュニティバス全路線、全便、全バス停の乗降データを収集
- 集計・分析したデータをもとに、運行ダイヤルートの継続的な見直しを行うとともに、運行見直し基準を見える化

番号	指標	目標設定数値	見直し対応方針
①	路線別の1日あたり平均利用人数（概ね半年集計）	1～2人未満（1日に1～2人利用）の場合、見直しを検討	その路線の廃止を一定の猶予期間を設けて検討・実施
②	便別の1日あたり平均利用人数（概ね半年集計）	0.5人未満（2日に1人利用）の場合、見直しを検討	その便の廃止を一定の猶予期間を設けて検討・実施
③	バス停別の1日あたり利用人数（概ね1年集計）	0.1人未満（10日に1人利用）の場合、見直しを検討	そのバス停の廃止を一定の猶予期間を設けて検討・実施（幹線・枝線踏まえ）

運行見直し基準

（効果）

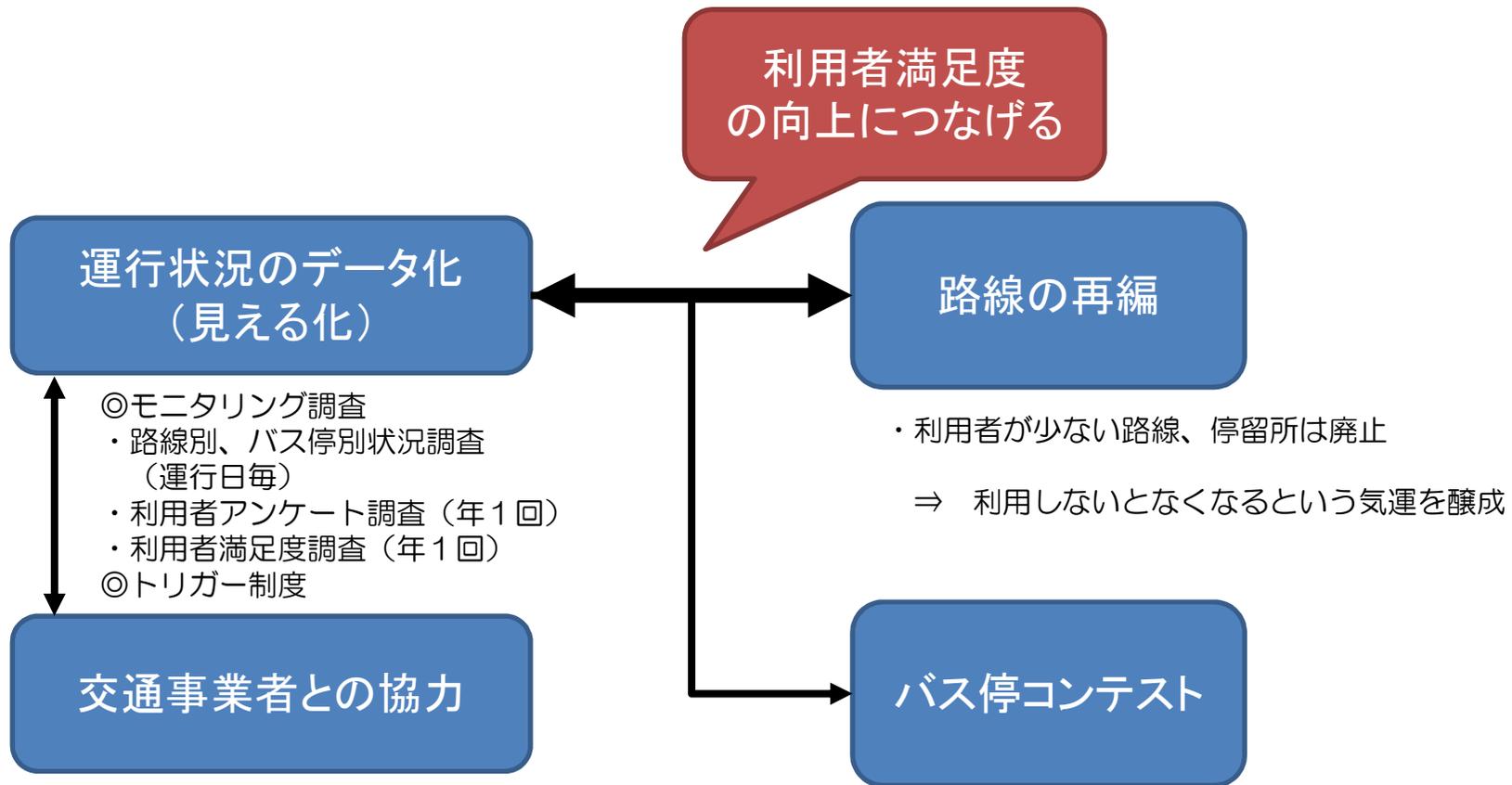
- コミュニティバス、乗合タクシーの利用者が増加傾向



- 地区単位で問題意識を持ち、路線を維持するため声を掛け合ってバスを積極的に利用するなど、公共交通に対する住民の意識も向上



豊後大野市公共交通活性化の取り組み



- ・バス停の維持管理に協力していただいた団体を表彰
- ・1年間で利用者が多かった停留所を表彰

住民意識の高揚



豊後大野市地域公共交通の歴史



	昭和20	30	40	50	60	平成 元	10	15	20	25	
地域公共交通に関する法律の推移(抜粋)											<ul style="list-style-type: none"> ・スクールバス、一般住民混乗許可手続き大幅簡素化(H8) ・へき地患者輸送バス 一般住民の混乗が認められる。(H12) ・改正道路運送法(バスの路線廃止が届出制に変更(H14)) ・地域公共交通活性化再生法(H19) ・地域公共交通確保維持改善事業 創設(H23) ・交通政策基本法(H25)
市内の状況		<ul style="list-style-type: none"> ・最盛期には約3,000名いた緒方町尾平鉱山の閉山(S29) 	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バス路線拡大(S33頃) 	<ul style="list-style-type: none"> ・尾平鉱山-上畑間路線バス運行廃止(S46) 	<ul style="list-style-type: none"> ・上畑-小原間 路線バス運行廃止(S59) 						<p>学校の統廃合に伴うバスの運行+空き時間の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝地町内3校が統合し、朝地小学校開校(H15.4) ・朝地小学校移転(H16.4) ・清川村内3校が統合し清川小学校開校(H16.4) ・大野町内5校が統合し大野小学校開校(H17) ・赤字路線バスの廃止計画提出(H17.11) ・臼杵市と豊後大野市をつなぐJRバス(臼三線)廃止(H19.3) ・臼三線 臼津交通 大野竹田バス運行継承(H19.4)
路線バス事業者への運行費助成実施(現在も継続中)											
竹田-尾平鉱山間を運行していた路線バス											
スクールバス(緒方町)											
緒方町営バス(過疎バス)											
患者輸送バス(緒方町)											
コミュニティバス											
町所有バスの効率的運営 +民間路線バス不採算路線からの撤退を視野											
市民・議会から ・運行区域を全市域へ(地域間格差是正) ・運行内容改善要望多数 市役所内では ・旧地域間の運行バランスが悪い ・合併効果が出ていない ・・・どうしたらいいのか・・・											
緒方町コミュニティバス H12年からスクールバスとして使用していた車両をコミュニティバス運行開始時に町のイメージであるチューリップ柄のデザインを施し運行開始。町のイメージアップにも貢献。											
清川町コミュニティバス(左) 朝地町コミュニティバス(右) 現在も車両使用中											
緒方町コミュニティバス運行開始(H15.6)7路線・4台(通学児童との混乗)											
朝地町福祉バス運行開始(H15.8)5路線・2台 清川町コミュニティバス運行開始(H16.4)5路線・2台											
大野町福祉バス運行開始(H16.5)6路線・3台											
豊後大野市発足(H17.3) 豊後大野市コミュニティバス運行開始(H17.3)・合併前の4町の運行を継続											
豊後大野市の地域にやさしい公共交通夢創造に関する調査(H22.3) 豊後大野市地域公共交通総合連携計画(H23.3)											
豊後大野市コミュニティバス運行開始(H24.1) 39路線 豊後大野市あいのりタクシー運行開始(H24.1) 2区域 ・モニタリング調査開始(H24)											

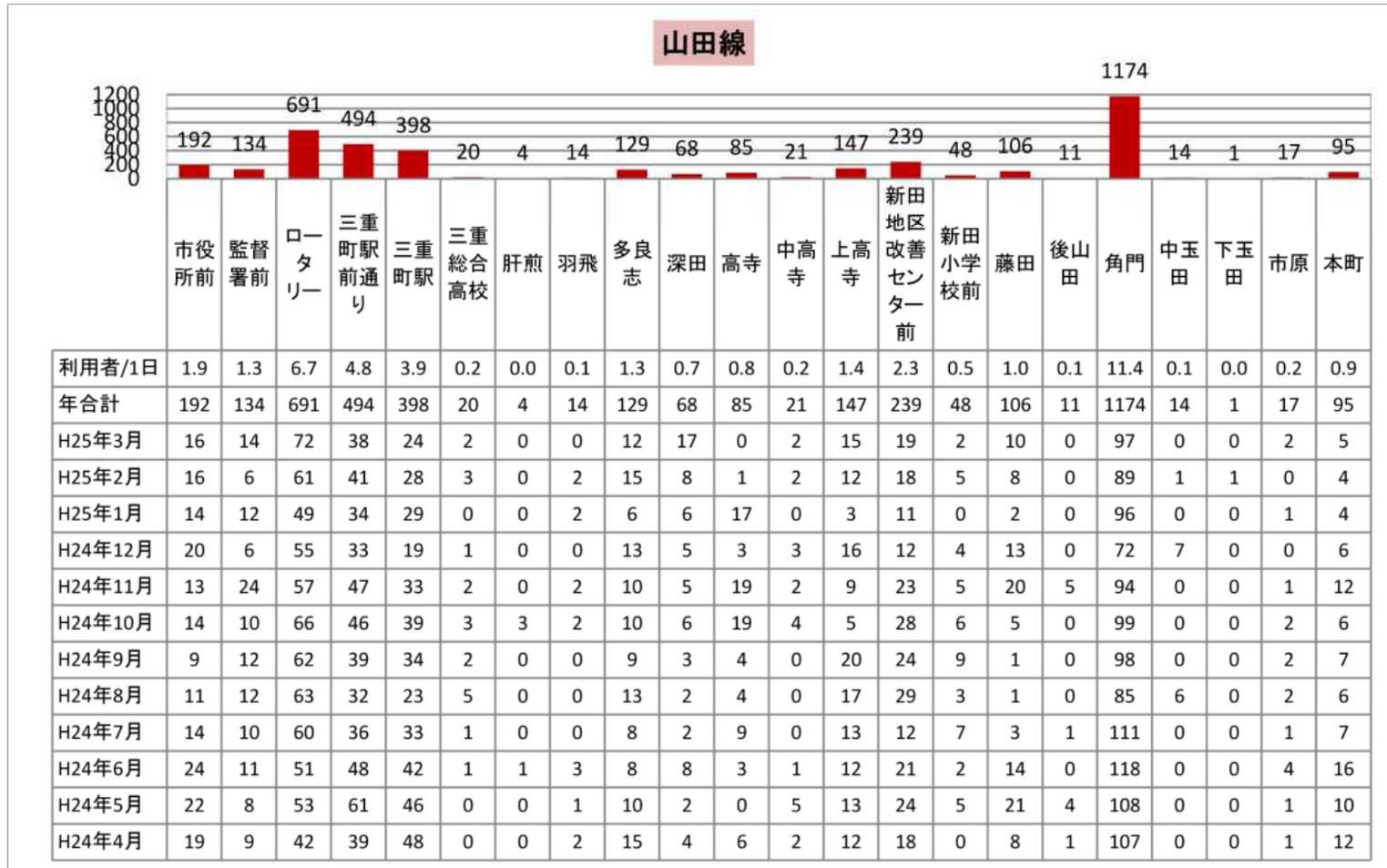


運行見直し基準の見える化(トリガー制度)

モニタリング調査 ⇒ 運行見直しを実施

・公共交通モニタリング調査

コミュニティバス、あいのリタクシー、路線バスの利用状況調査、アンケート調査、乗務員の聞き取り



バスの運行水準(豊後大野市地域公共交通総合連携計画より)

【公共交通の適正な運行水準とは？】

運行水準は以下のような順で低減化させることが考えられる。

乗合バス事業者によるバスの運行。主に基幹路線の運行形態。



運行形態: 定期定路線
運行日: 毎日運行
許可: 4条許可(一般乗合)
車両: 事業用車両

乗合バス・タクシー事業者による運行。主に枝線の運行形態。



運行形態: 定期定路線
運行日: 曜日運行
許可: 78条許可(市町村有償)
車両: 自家用車両

乗合バス・タクシー事業者による運行。一定のエリアをカバーする運行形態。



運行形態: 不定期区域運行
運行日: 曜日運行
許可: 4条又は21条許可
(乗合・貸切)
車両: 事業用車両

高い

運行水準

低い

山田線変更内容について

H26.3.31まで



H26.4.1から

・運行ルートまで利用者が歩いてくる高齢者が多い。
 ・乗り込みの要望が多い。
 (乗務員からの聞き取り、地区民生委員、自治委員からの要望)



－変更内容－

①運行回数の変更

火・金曜日(4回/日)運行に 月・木曜日(3回/日)運行を追加

②路線の変更

H26.3.31まで

路線距離16.0km (循環・平均) 運行回数 4.0回

H26.4.1から

路線距離17.2km (循環・平均) 運行回数 3.5回

02 山田線 時刻表

H25.4.1～H26.3.31

● 山田線 (火曜・金曜運行)

バス停名	通過予定時刻			
●市役所前 発	7:50	10:05	11:50	14:05
監督署前	10:06	11:51	14:06	
ロータリー		10:07	11:52	14:07
三重駅前通り		10:09	11:54	14:09
三重町駅前通り		10:10	11:55	14:10
三重町駅前通り		10:11	11:56	14:11
ロータリー		10:13	11:58	14:13
監督署前	7:51	10:14	11:59	14:14
三重総合高校	7:52	10:15	12:00	14:15
肝煎	7:54	10:17	12:02	14:17
羽飛	7:55	10:18	12:03	14:18
多良志	7:56	10:19	12:04	14:19
深田		10:20	12:05	14:20
中高寺			12:06	14:21
上高寺			12:07	14:22
中高寺			12:08	14:23
中高寺			12:09	14:24
高寺			12:10	14:25
新田地区改善センター前			12:11	14:26
新田小学校前			12:12	14:27
藤田			12:13	14:28
後山田			12:14	14:29
角門			12:15	14:30
後山田			12:16	14:31
藤田			12:17	14:32
深田公民館			12:18	14:33
市原			12:19	14:34
本町			12:20	14:35
三重町駅前通り			12:21	14:36
三重町駅前通り	8:25	10:40	12:31	14:46
三重町駅前通り	8:26	10:41	12:32	14:47
三重町駅前通り	8:27	10:42	12:33	14:48
三重町駅前通り	8:28	10:43	12:34	14:49
ロータリー	8:29	10:44	12:35	14:50
監督署前	8:30	10:45	12:36	14:51
●市役所前 着	8:31	10:46	12:37	14:52

・運行ルートの追加

・運行日の追加

02 山田線 時刻表

H26.4.1～H27.3.31

山田線 (月・火・木・金曜運行)

バス停名	通過予定時刻			
▼市役所前 発	7:48	10:03	11:50	14:05
監督署前	↓	10:04	11:51	14:06
ロータリー	↓	10:05	11:52	14:07
三重駅前通り	↓	10:07	11:54	14:09
三重町駅前通り	↓	10:08	11:55	14:10
三重町駅前通り	↓	10:09	11:56	14:11
ロータリー	↓	10:11	11:58	14:13
監督署前	7:49	10:12	11:59	14:14
三重総合高校	7:50	10:13	12:00	14:15
肝煎	7:52	10:15	12:02	14:17
羽飛	7:53	10:16	12:03	14:18
多良志	7:54	10:17	12:04	14:19
深田	7:55	10:18	12:05	14:20
中高寺	7:56	10:19	12:06	14:21
上高寺	7:57	10:20	12:07	14:22
中高寺	7:58	10:21	12:08	14:23
中高寺	7:59	10:22	12:09	14:24
高寺	8:00	10:23	12:10	14:25
中尾	8:01	10:24	12:11	14:26
新田地区改善センター前	8:03	10:26	12:13	14:28
新田小学校前	8:04	10:27	12:14	14:29
藤田	8:05	10:28	12:15	14:30
後山田	8:06	10:29	12:16	14:31
角門	8:10	10:33	12:20	14:35
後山田	8:14	10:37	12:24	14:39
藤田	8:15	10:38	12:25	14:40
深田公民館	8:19	10:42	12:29	14:44
市原	8:22	10:45	12:32	14:47
本町	8:23	10:46	12:33	14:48
三重町駅前通り	8:25	10:48	12:35	14:50
三重町駅前通り	8:26	10:49	12:36	14:51
三重町駅前通り	8:27	10:50	12:37	14:52
ロータリー	8:29	10:52	12:39	14:54
監督署前	8:30	10:53	12:40	14:55
●市役所前 着	8:31	10:54	12:41	14:56

※月・木曜日は市役所発14時05分の便は運行しません。

小坂線変更内容について

H26.3.31まで



・利用者が少ない。
・隣接地であいのりタクシーの運行を行っている。

H26.4.1から



凡例

—	H26.3.31 まで路線
—	H26.4.1 以降路線

—変更内容—

①名称変更

小坂・入北線を小坂線に変更

②路線の変更・運行回数の変更

H26.3.31まで
路線距離 16.5km(片道)
運行回数 2.0回

H26.4.1から
路線距離 11.8km(循環)
運行回数 3.0回

01 小坂・入北線 時刻表 H25.4.1~H26.3.31

● 小坂・入北線 (月曜・木曜運行)

バス停名	通過予定時刻	
●市役所前 発	11:55	14:00
監督署前	11:56	14:01
ロータリー	11:57	14:02
三重町駅前通り	11:59	14:04
三重町駅	12:00	14:05
三重町駅前通り	12:01	14:06
ロータリートキハ前	12:03	14:08
市場六区	12:04	14:09
今市	12:05	14:10
下赤嶺下区公民館前	12:08	14:13
二ト台	12:11	14:16
うしろご	12:13	14:18
上小坂公民館前	12:15	14:20
中小坂	12:21	14:26
若山	12:23	14:28
下小坂	12:24	14:29
中村	12:27	14:32
上組	12:29	14:34
鳥越	12:31	14:36
入北入口	12:32	14:37
●楠無礼 着	12:40	14:45

バス停名	通過予定時刻	
●下小坂 発	8:25	10:00
中村	8:28	10:03
上組	8:30	10:05
鳥越	8:32	10:07
入北入口	8:33	10:08
楠無礼	8:41	10:16
若山	8:42	10:17
中小坂	8:44	10:19
上小坂公民館前	8:50	10:25
うしろご	8:52	10:27
二ト台	8:54	10:29
下赤嶺下区公民館前	8:57	10:32
今市	9:00	10:35
市場六区	9:01	10:36
ロータリートキハ前	9:02	10:37
三重町駅前通り	9:04	10:39
三重町駅	9:05	10:40
三重町駅前通り	9:06	10:41
ロータリー	9:08	10:43
監督署前	9:09	10:44
●市役所前 着	9:10	10:45

01 小坂線 時刻表 H26.4.1~H27.3.31

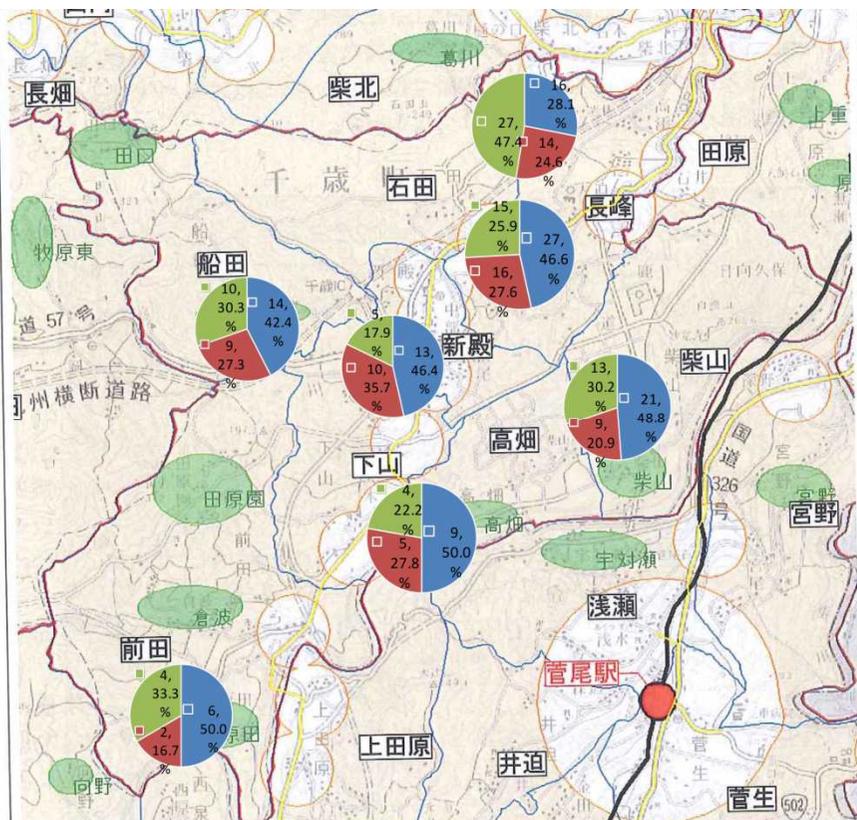
バス停名	通過予定時刻		
▼市役所前 発	8:45	11:00	14:00
監督署前	8:46	11:01	14:01
ロータリー	8:47	11:02	14:02
三重町駅前通り	8:49	11:04	14:04
三重町駅	8:50	11:05	14:05
三重町駅前通り	8:51	11:06	14:06
ロータリートキハ前	8:53	11:08	14:08
市場六区	8:54	11:09	14:09
今市	8:55	11:10	14:10
下赤嶺下区公民館前	8:58	11:13	14:13
二ト台	9:01	11:16	14:16
うしろご	9:03	11:18	14:18
上小坂公民館前	9:05	11:20	14:20
二ト台	9:09	11:24	14:24
下赤嶺下区公民館前	9:12	11:27	14:27
今市	9:14	11:29	14:29
市場六区	9:17	11:32	14:32
ロータリートキハ前	9:18	11:33	14:33
三重町駅前通り	9:19	11:34	14:34
三重町駅	9:20	11:35	14:35
三重町駅前通り	9:21	11:36	14:36
ロータリー	9:23	11:38	14:38
監督署前	9:24	11:39	14:40

・運行ルートの変更
(一部区間
あいのりタクシーへ)

豊後大野市千歳町生活実態調査結果

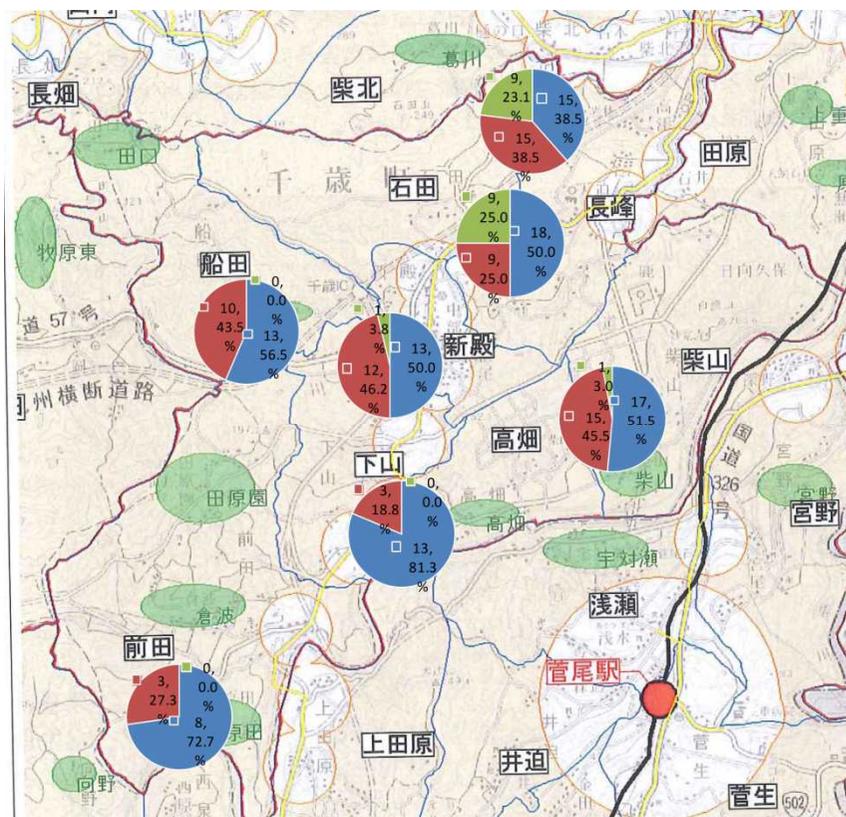
調査対象 千歳町内に居住する75歳以上全員
 調査方法 自治委員による調査票配布回収
 調査内容 買い物について 通院について 自由意見

調査結果(買い物)



■ 三重町
 ■ 千歳町
 ■ その他

調査結果(通院)



■ 三重町
 ■ 千歳町
 ■ その他

アンケート調査の結果、市内三重町と千歳町内に買い物や通院に行っている実態があったこと、また調査対象者からは三重町へ買い物や通院に行きたいとの希望を踏まえ、両地域を結ぶ路線の見直し案を作成

11 船田線変更内容について

H26.3.31まで

- ・市内中心部へ運行ルートを延伸
- ・利用がない区間の運行廃止
- ・運行曜日を週1回へ



ー変更内容ー

①路線の変更・運行回数の変更

H26.3.31まで 路線距離 7.3km(片道) 運行回数 2.0回

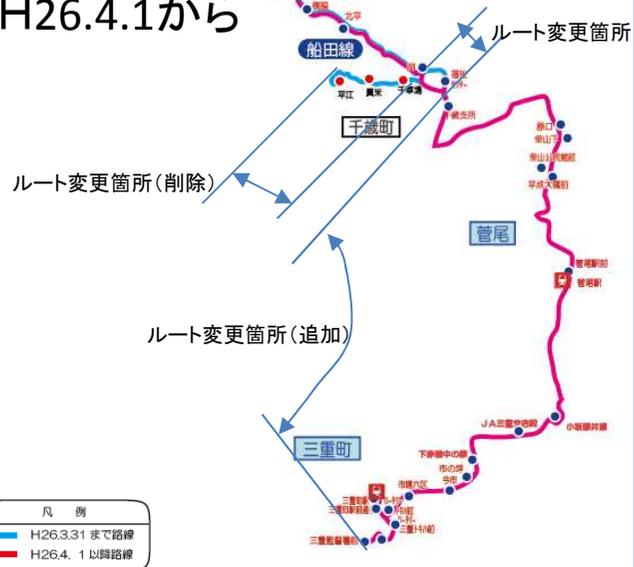
H26.4.1から 路線距離 22.9km(片道・平均) 運行回数 2.5回

11 船田線 時刻表 H25.4.1~H26.3.31

船田線 (月曜・木曜運行)					
バス停名	通過予定時刻		バス停名	通過予定時刻	
●千歳支所 発	11:20	14:10	●田口 発	8:10	10:40
新 殿	11:21	14:11	横 脇	8:11	10:41
福祉センター	11:22	14:12	北 平	8:12	10:42
岡	11:24	14:14	千草場	8:16	10:46
千草場	11:26	14:16	真 米	8:18	10:48
真 米	11:28	14:18	平 江	8:20	10:50
平 江	11:30	14:20	真 米	8:22	10:52
真 米	11:32	14:22	千草場	8:24	10:54
千草場	11:34	14:24	岡	8:26	10:56
北 平	11:38	14:28	福祉センター	8:28	10:58
横 脇	11:39	14:29	新 殿	8:29	10:59
●田口 着	11:40	14:30	●千歳支所 着	8:30	11:00

- ・利用者が少ない。
- ・利用が全くないルートもある。
- ・75歳以上アンケートの結果、市内中心部への乗り込みを希望する利用者が多い

H26.4.1から



11 船田線 時刻表 H26.4.1~H27.3.31

船田線 (木曜運行)						
バス停名	通過予定時刻			バス停名	通過予定時刻	
▼ 市役所 発	8:40	10:20	13:40	▼ 田口 発	9:30	11:30
ロータリー	8:41	10:21	13:41	横脇	9:30	11:30
三重トキ八前	8:42	10:22	13:42	北平	9:32	11:32
監督署前	8:44	10:24	13:44	新殿	9:37	11:37
ロータリー	8:44	10:24	13:44	福祉センター	9:38	11:38
三重駅前通り	8:45	10:25	13:45	千歳支所	9:40	11:40
三重町駅	8:46	10:26	13:46	原口	9:42	11:42
三重駅前通り	8:47	10:27	13:47	柴山下	9:43	11:43
ロータリートキ八前	8:49	10:29	13:49	平成大橋前	9:44	11:44
市場六区	8:50	10:30	13:50	宇対瀬	9:45	11:45
今市	8:51	10:31	13:51	菅尾駅前	9:49	11:49
市の坪	8:52	10:32	13:52	菅尾駅	9:50	11:50
赤嶺	8:53	10:33	13:53	小坂柳井瀬	9:54	11:54
J A 三重支店前	8:55	10:35	13:55	J A 三重支店前	9:57	11:57
小坂柳井瀬	8:58	10:38	13:58	赤嶺	9:58	11:58
菅尾駅	9:02	10:42	14:02	市の坪	9:59	11:59
菅尾駅前	9:03	10:43	14:03	今市	10:00	12:00
宇対瀬	9:07	10:47	14:07	市場六区	10:02	12:02
平成大橋前	9:08	10:48	14:08	ロータリートキ八前	10:02	12:02
柴山下	9:09	10:49	14:09	三重駅前通り	10:04	12:04
原口	9:11	10:51	14:11	三重町駅	10:05	12:05
千歳支所	9:13	10:53	14:13	三重駅前通り	10:06	12:06
福祉センター	9:14	10:54	14:14	三重トキ八前	10:08	12:08
新殿	9:15	10:55	14:15	● 市役所 着	10:09	12:09
北平	9:18	10:58	14:18			
横脇	9:18	10:58	14:18			
● 田口 着	9:19	10:59	14:19			



豊後大野市地域公共交通の歴史



	昭和20	30	40	50	60	平成元	10	15	20	25	
地域公共交通に関する法律の推移(抜粋)											<ul style="list-style-type: none"> ・スクールバス、一般住民混乗許可手続き大幅簡素化(H8) ・へき地患者輸送バス 一般住民の混乗が認められる。(H12) ・改正道路運送法(バスの路線廃止が届出制に変更(H14)) ・地域公共交通活性化再生法(H19) ・地域公共交通確保維持改善事業 創設(H23) ・交通政策基本法(H25)
市内の状況		<ul style="list-style-type: none"> ・最盛期には約3,000名いた緒方町尾平鉱山の閉山(S29) 	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バス路線拡大(S33頃) 	<ul style="list-style-type: none"> ・尾平鉱山-上畑間路線バス運行廃止(S46) 	<ul style="list-style-type: none"> ・上畑-小原間 路線バス運行廃止(S59) 						<p>学校の統廃合に伴うバスの運行+空き時間の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝地町内3校が統合し、朝地小学校開校(H15.4) ・朝地小学校移転(H16.4) ・清川村内3校が統合し清川小学校開校(H16.4) ・大野町内5校が統合し大野小学校開校(H17) ・赤字路線バスの廃止計画提出(H17.11) ・臼杵市と豊後大野市をつなぐJRバス(臼三線)廃止(H19.3) ・臼三線 臼津交通 大野竹田バス運行継承(H19.4)
路線バス事業者への運行費助成実施(現在も継続中)											
竹田-尾平鉱山間を運行していた路線バス											
スクールバス(緒方町)											
緒方町営バス(過疎バス)											
患者輸送バス(緒方町)											
コミュニティバス											
清川町コミュニティバス(左) 朝地町コミュニティバス(右) 現在も車両使用中											
町所有バスの効率的運営 +民間路線バス不採算路線からの撤退を視野											
市民・議会から ・運行区域を全市域へ(地域間格差是正) ・運行内容改善要望多数 市役所内では ・旧地域間の運行バランスが悪い ・合併効果が出ていない ...どうしたらいいのか...											
緒方町コミュニティバス H12年からスクールバスとして使用していた車両をコミュニティバス運行開始時に町のイメージであるチューリップ柄のデザインを施し運行開始。町のイメージアップにも貢献。											
緒方町コミュニティバス運行開始(H15.6)7路線・4台(通学児童との混乗)											
朝地町福祉バス運行開始(H15.8)5路線・2台 清川町コミュニティバス運行開始(H16.4)5路線・2台 大野町福祉バス運行開始(H16.5)6路線・3台											
豊後大野市発足(H17.3) 豊後大野市コミュニティバス運行開始(H17.3)・合併前の4町の運行を継続											
豊後大野市の地域にやさしい公共交通夢創造に関する調査(H22.3) 豊後大野市地域公共交通総合連携計画(H23.3)											
豊後大野市コミュニティバス運行開始(H24.1) 39路線 豊後大野市あいのりタクシー運行開始(H24.1) 2区域 モニタリング調査開始(H24)											
第2次地域公共交通総合連携計画(H26.3) 豊後大野市コミュニティバス本格運行(H26.4)36路線 豊後大野市あいのりタクシー運行開始(H26.4) 5区域											



豊後大野市コミュニティバス・あいのりタクシーの状況

コミュニティバス(78条市町村有償運送)

路線数 36路線(乗合型)
車両数 16台

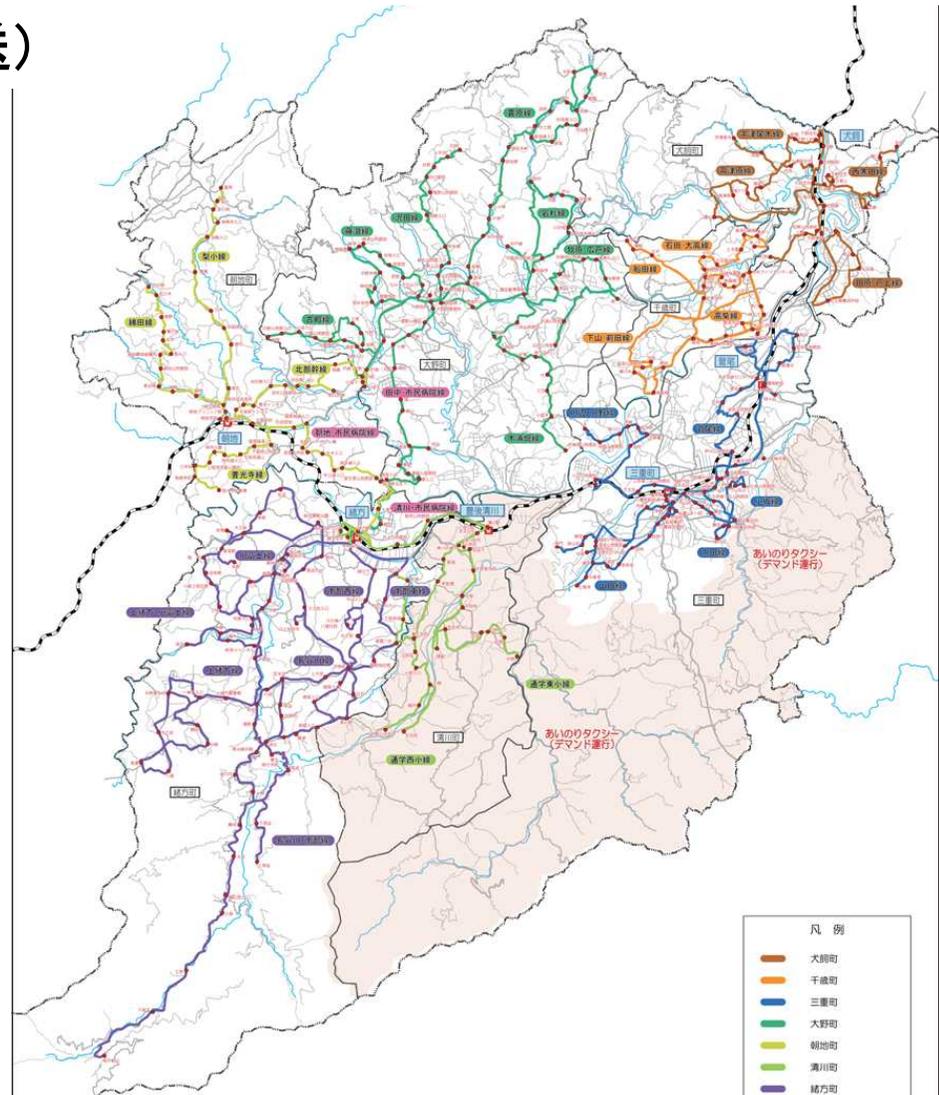
うち、スクールバスと兼用 12台
(混乗/7台 清川(2)、緒方(5))
(分乗/5台 朝地(2)、大野(3))



マイクロバスタイプ(乗車定員23人~29人 11台)
ワゴンタイプ(乗車定員15人) 5台

あいのりタクシー(4条区域運行)

区域運行 5つの区域で運行(デマンド)
車両はタクシー車両を使い運行



豊後大野市コミュニティバス路線図

この路線図は平成26年4月時点での路線図です。



コミュニティバスの運行内容 36路線

約バス停400箇所

毎日運行 1路線 長谷川線 (平日・土日祝)・・・7便/日(片道)

曜日指定運行(週5回) 清川:通学東線 (月～金) … 3便/日(片道)

清川:通学西線 (月～金) … 3便/日(片道)

朝地:朝地・市民病院線(月～金) … 5便/日(片道)

大野:田中・市民病院線(月～金) … 6便/日(片道)

平日のみ運行 上緒方・小富士線(平日(祝日ダイヤ有))・8便/日(片道)

上緒方線(平日) … 3便/日(循環)

長谷川・南部線(平日・祝) … 4便/日(片道)

曜日指定運行(週4回) 三重:山田線 (月・火・木・金) ・3.5便/日(循環)

曜日指定運行(週2回)

三重 小坂線 (月・木)、菅尾線(月・木)、川辺・向野線(火・金)、内田線(火・金)

緒方 小富士線(月・木)、南部西線(火・金)、南部東線(火・金)

朝地 普光寺線(月・木)、北部幹線(月・木)、梨小線(火・金)、綿田線(火・金)

大野 貫原線(月・木)、岩杉線(月・木)、古殿線(月・木)、沢田線(火・金)、牧原・広戸線(火・金)

木浦畑線(火・金)

犬飼 宇津尾木線(火・金)、高津原線(月・木)、西寒田線(火・金)、田原・戸上線(月・木)

曜日指定運行(週1回)

千歳 高柴線(月)、石田・大高線(火)、船田線(木)、下山・前田線(金)

大野竹田バス・豊後大野市タクシー協会に運行管理業務を委託

※赤字 フィーダー対象(国庫補助)路線、その他路線は県補助

※青字 特例措置に伴いフィーダー対象路線となったもの

※運賃は小中学生は半額、障がい者の減免あり。緒方町の長谷緒井路土地改良区を跨ぐ区間、千歳町 平成大橋を跨ぐ区間は運賃300円

※スクールバスとの混乗路線は8月6日運休



運賃は200円(※)

12/31～1/3は運休します



コミュニティバスの利用状況

平成25年4月から平成26年3月までの利用者数 33,858人
(前年度比 2%増)

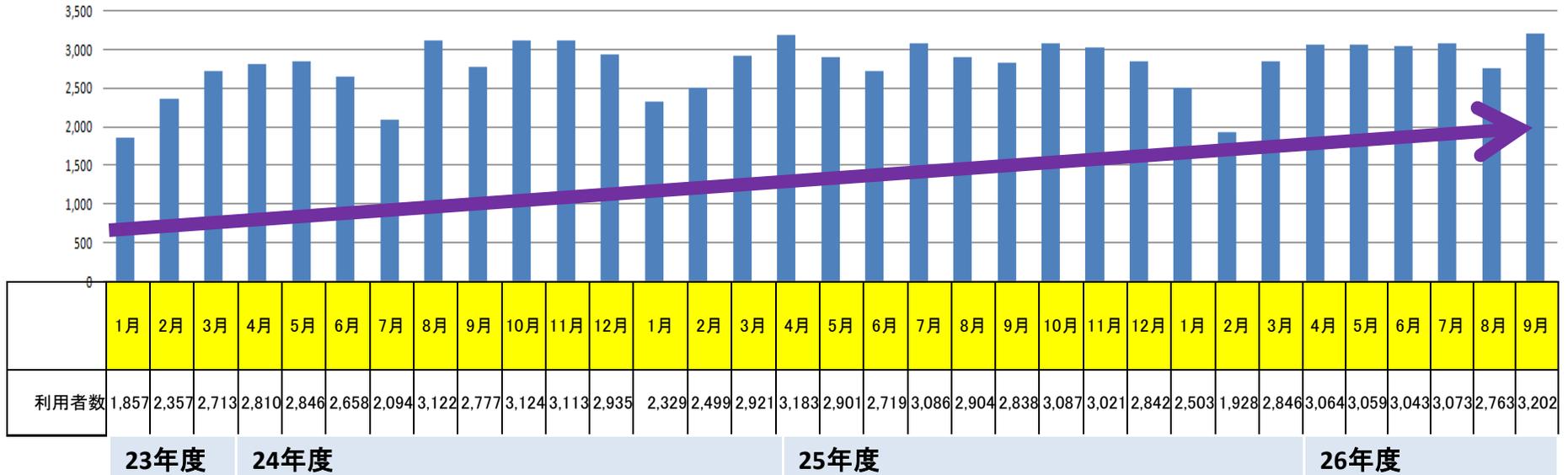
スクールバス利用者数 13,653人
月あたり平均利用者数 約2,800人



利用者は多くの町で増加傾向!!

コミュニティバス利用者数

■利用者数

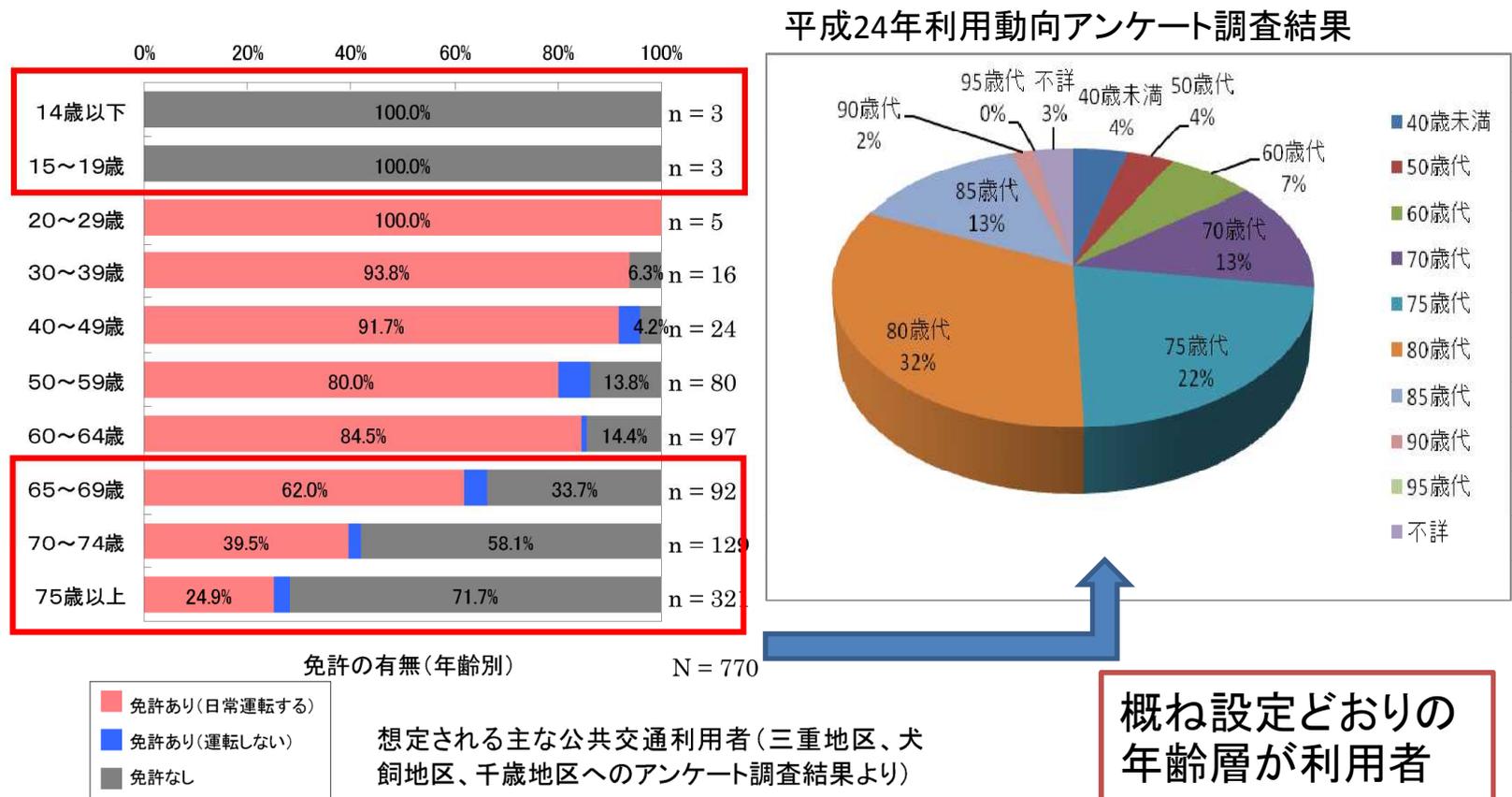


※平成24年7月は九州北部豪雨の影響で、車庫の冠水や通行止め多数発生

※平成26年2月は記録的な大雪のため運休が多数発生

コミュニティバス利用者層

交通空白地域や現地調査の結果から、豊後大野市の公共交通の利用者は交通弱者である19歳以下の若年層と65歳以上の高齢者となることが想定される。コミュニティバスの再編にあたっては、想定される利用者を明確に設定し、そのニーズに合わせた運行を行う必要がある。





あいのりタクシーの運行内容

料金

300円～600円

運行内容

4条 区域運行

運行区域

市内三重町中心部行き

3区域

市内清川町中心部行き

2区域

三重町中心部行き(0974-22-8822)

市街地方面行き出発時間

8:00～8:30

10:00～10:30

郊外方面行き出発時間

11:30～11:50

14:00～14:20

16:00～16:20

清川町中心部行き(0974-35-2655)

市街地方面行き出発時間

7:30～8:00

9:00～9:30

郊外方面行き出発時間

11:30～11:50

12:30～12:50

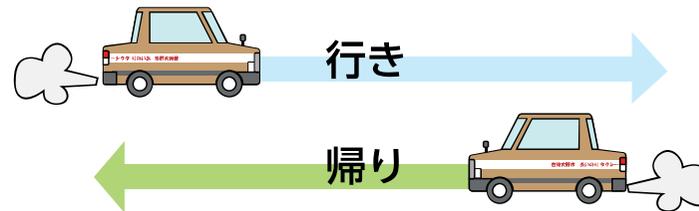
14:10～14:30

利用方法

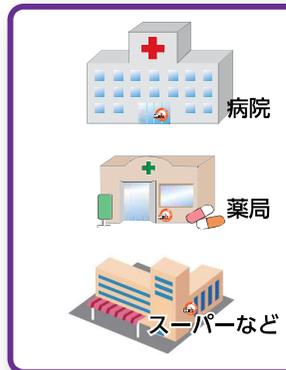


出発地から目的地まで乗車時間は30分以内となるよう配車

行き帰りともに事前の電話予約が必要です。
帰りの予約は行きの車内でも可能です。



あいのりタクシーのりば



乗降場所ではこのマークのそばでお待ち下さい

豊後大野市タクシー協会に運行業務を委託(コールセンター・配車計画込)
タクシー会社所有車両を使い「ドア・ツー・ドア」、利用者が一人でも運行

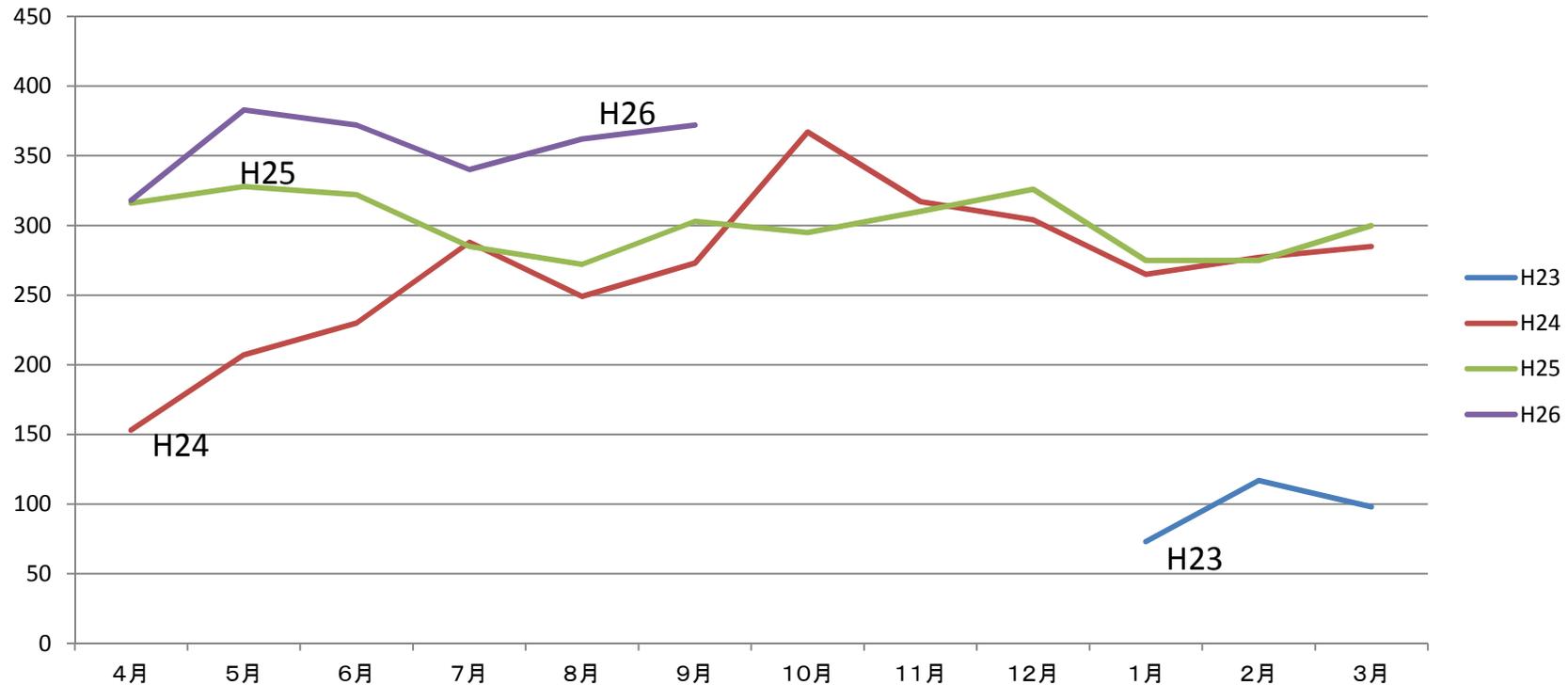


あいのりタクシーの利用状況

平成25年4月から平成26年3月までの利用者数 3,607人
(前年度比 12%増)
平成25年度における月あたり平均利用者数 約300人



あいのりタクシー利用者数の推移
(三重地区)



利用者は増加傾向!!

あいのりタクシー利用状況

H24.1～H26.9末日までの利用実績

男女別状況

(単位:人、%)

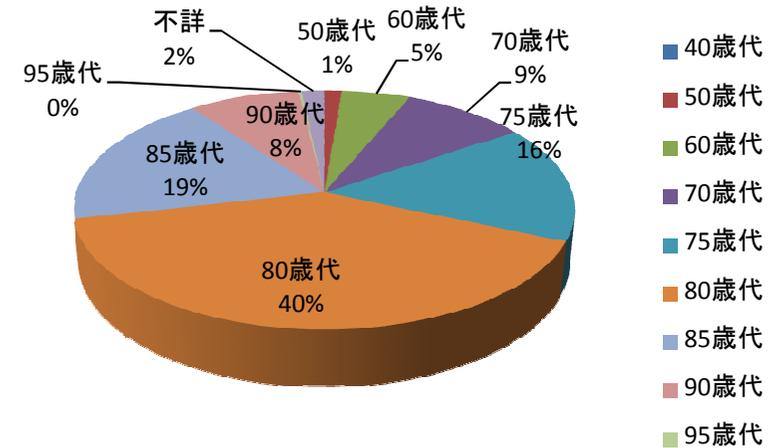
性別	利用人数	割合
男性	2,072	22.5%
女性	6,988	75.8%
不詳(※)	154	1.7%
計	9,214	

※「不詳」とは住民票はないが、あいのりタクシー利用区域に居住されている方である。

地区別利用状況

町名	行政区	登録者数	利用者数 (実数)	利用者数 (のべ)	人/平均 利用回数	月平均 利用回数	参考(75歳以上人口)
三重町	稲積	111	28	1,508	53.9	1.7	57
三重町	下鷺谷	36	5	245	49.0	1.5	25
三重町	久原	58	14	1,173	83.8	2.6	22
三重町	山中	16	6	324	54.0	1.7	11
三重町	小津留	14	2	142	71.0	2.2	11
三重町	松尾	111	18	1,219	67.7	2.1	44
三重町	上小坂	12	4	13	3.3	0.1	89
三重町	上鷺谷	29	15	935	62.3	1.9	23
三重町	代	23	6	280	46.7	1.5	6
三重町	中津無礼	59	14	860	61.4	1.9	35
三重町	田町	50	6	597	99.5	3.1	22
清川町	白山上	31	9	432	48.0	1.5	24
清川町	白山東谷	48	10	436	43.6	1.4	16
清川町	伏野	88	16	865	54.1	1.7	41
清川町	宇田枝	3	2	59	29.5	0.9	98
清川町	松谷	25	2	69	34.5	1.1	25
三重町	入北	17	7	46	6.6	0.2	26
三重町	中小坂	0	0	0			27
三重町	下小坂	9	2	10	5.0	0.2	28
三重町	高屋	1	1	1	1.0	0.0	29
	計	741	167	9,214	55.2	1.7	549

年代別利用者数



地域の75歳以上人口に対して概ね25%程度の方が利用。

平均すると利用者は月に1日程度利用。

どの町で同じように運行してもこの結果になるとは限らない。

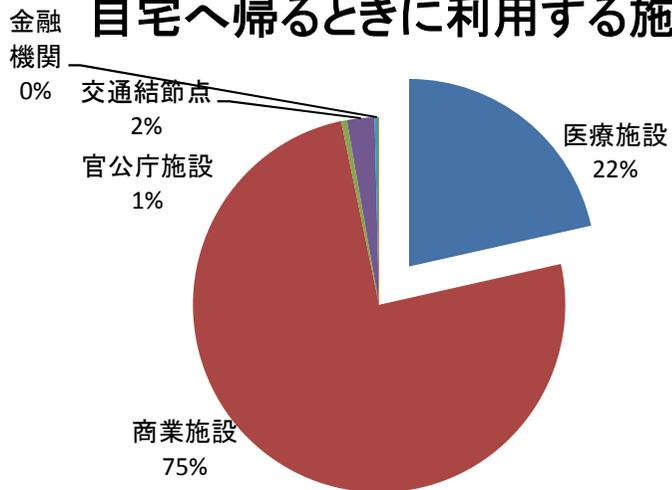
↑ 行きで1回、帰りで1回で利用回数をカウントしている。

あいのりタクシー利用状況

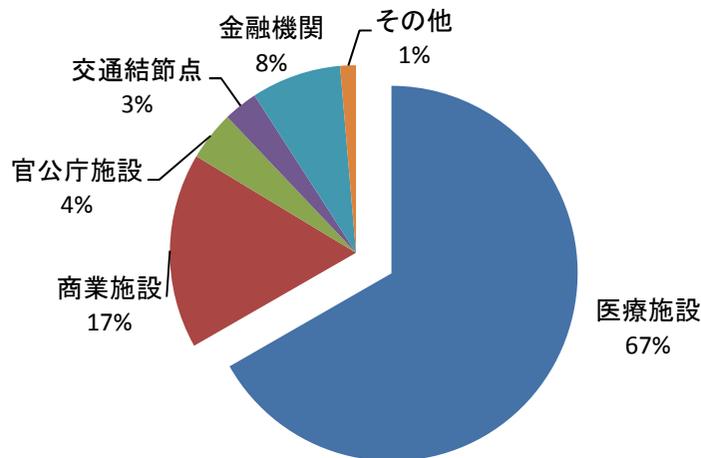
H24.1～H26.8末日までの利用実績

病院に行って
買い物をして帰る
利用者が多い

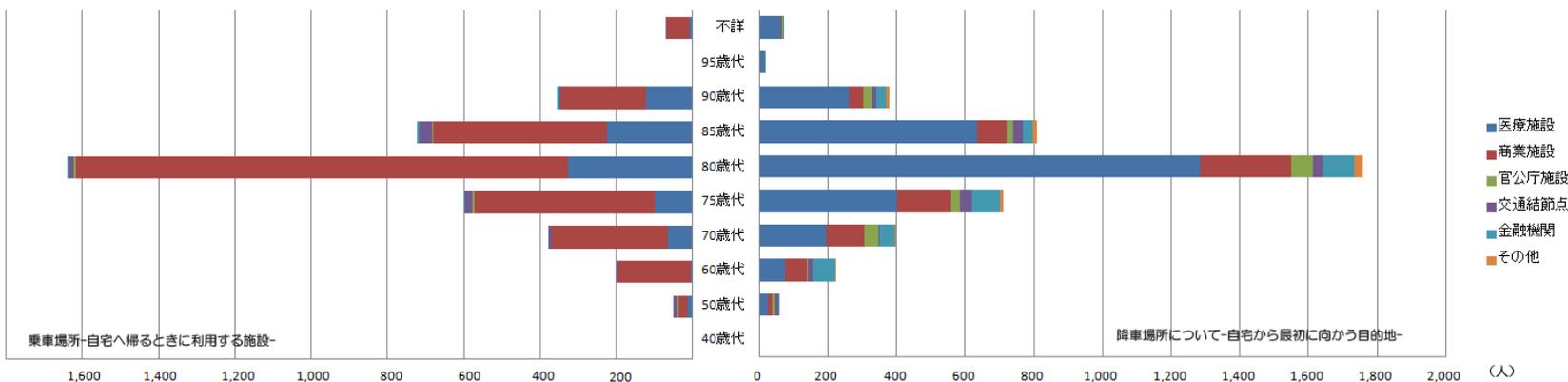
自宅へ帰るときに利用する施設は？



自宅から最初に向かう目的地は？



あいのりタクシー年代別利用状況



年齢を重ねるほど医療機関への利用が増える。また医療施設からほかの施設への移動が減少する傾向。
 →→→ どんな街が便利 →→→ コンパクトなまちが便利

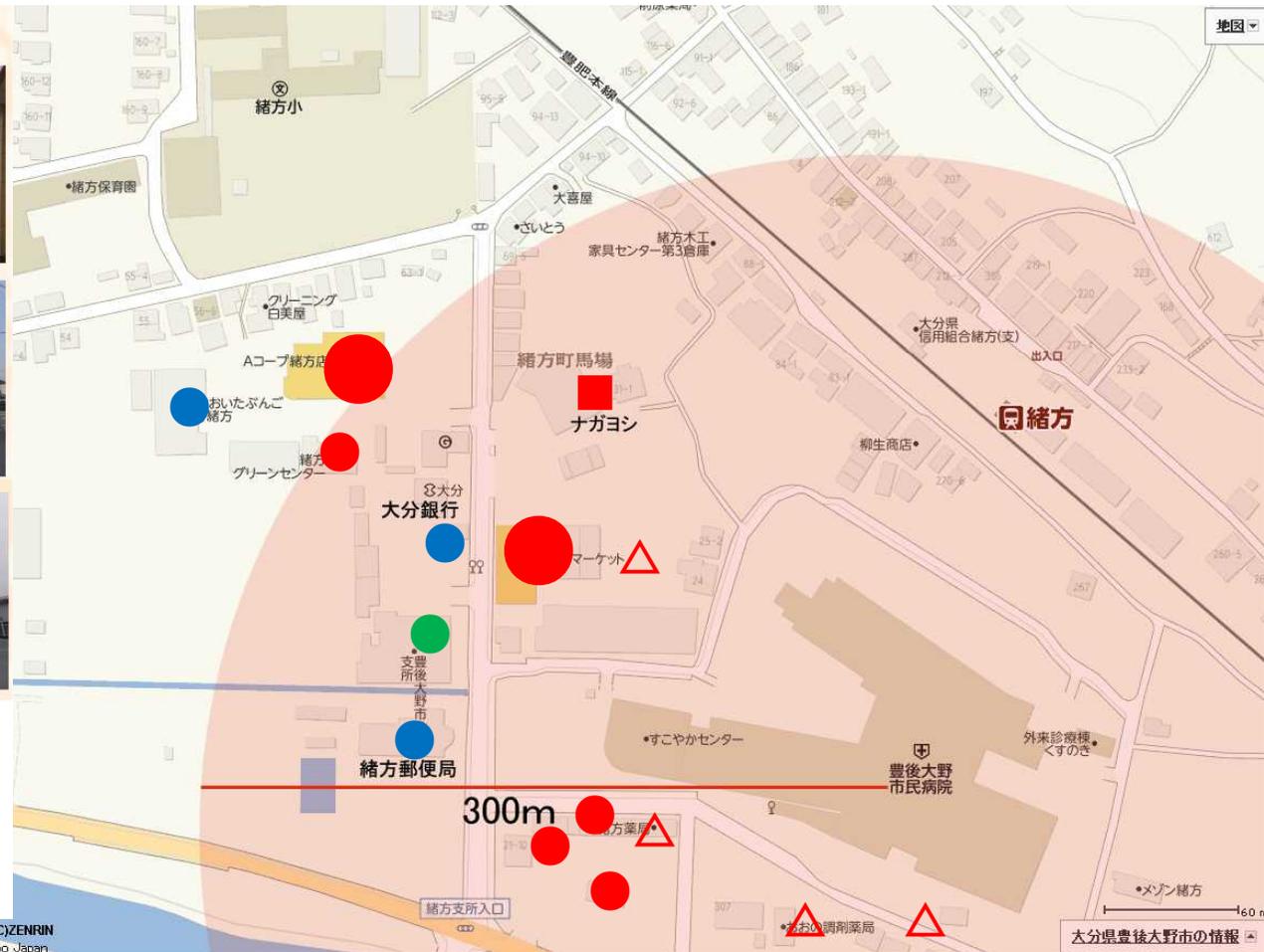


まちの機能が集約されたコンパクトなまち -豊後大野市緒方町-

市民病院と商店などの位置関係

- スーパー、食料品店など
- 金融機関
- 衣料品店
- △ 院外薬局
- 市役所 支所

♀ 最寄りのバス停の周辺施設



年間利用者数 15,485名 (市コミュニティバス利用者のうち45%が利用)
 運行日あたり平均利用者数 約75名 (平成25年4月1日から26年3月末日まで)



豊後大野市公共交通の取り組み

- ・トリガー制度の実施
トリガー制度(路線の廃止基準)を導入しており、利用者が少ない路線については、廃止も含めた公共交通の見直しを行う

<基準(抜粋)>

路線別・便別の1日あたり平均利用人数が
0.5人(2日に1人利用)以下の場合、見直しを検討

バス停別の1日あたり平均利用人数が
0.1人未満(10日に1人利用)以下の場合、見直しを検討

廃止が目的ではありません



利用促進策の実施に加え、利用しなければ不便になるといった危機感を醸成することで、地域と協働した公共交通の確保に向けた取り組みを進めています



「基準」をつくるにあたって -豊後大野市はこう考えました-

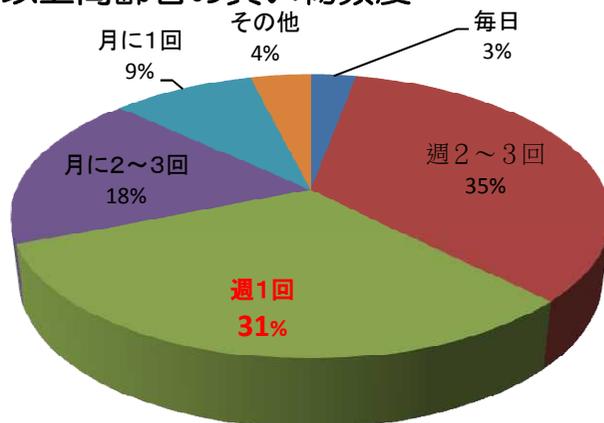
＜豊後大野市トリガー制度の基準(抜粋)＞
路線別・便別の1日あたり平均利用人数が
0.5人(2日に1人利用)以下の場合、見直しを検討

バス停別の1日あたり平均利用人数が
0.1人未満(10日に1人利用)以下の場合、見直しを検討

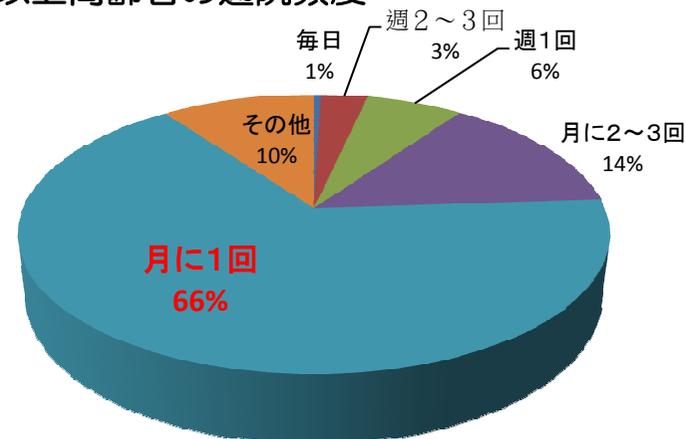
※ 「1日あたり」とは運行日あたり

理由 1 … 高齢者の外出頻度から考慮(豊後大野市朝地町調査結果より)

75歳以上高齢者の買い物頻度



75歳以上高齢者の通院頻度



理由 2 … 利用者がいないルートはやめるべき。
お客がいなくてぐるぐる連れまわされると疲れる。
(市コミュニティバス利用者アンケート調査結果から)

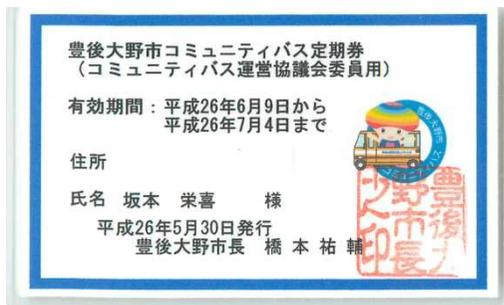


豊後大野市公共交通の取り組みの成果

運行状況を把握することでお互いの距離が縮まる

・バスの乗り込み調査 …… 乗降調査など、バスに乗り込み意見を聞く
乗務員との意見交換 …… ことで、乗客や乗務員とお互いに情報交換ができる
雑談etc

協議会(※1)委員の試乗調査 …… 実際にバスに乗ってもらうことで利用者目線
(定期券の配布) …… に立った意見をいただくことが出来た



コミュニティバス運営協議会(法に基づかない協議会)
委員構成: 旧町村住民代表(7名)、PTA代表(2名)、
老人会代表(2名)、自治会連合会代表(2名)
アドバイザー: 大分大学 大井准教授

乗降調査結果の数値化 …… 自治会や利用者からの要望に対応

調査結果に基づいたダイヤ改正

⇒ 事業者・乗務員・利用者との関係が向上!



豊後大野市公共交通の取り組みの成果

交通で地域の「縁」をつなぐ

- ・まちに出かけることが楽しい。バス友が出来た(利用者)
- ・バスの中で新たなコミュニティができている。
バスの中が賑やかで楽しい(利用者、乗務員)
- ・公共交通を積極的に利用しようという動きが出来た。(利用者)
- ・タクシー業界に昔の活気が戻った。(あいのりタクシー委託事業者(事務員、乗務員))
- ・どうしたら便利になるか交通事業に関わる関係者が考えるきっかけ
づくりになっている。 … **バスの乗務員は「キーマン」!**

公共交通を共に守り育てていく機運が盛り上がりつつある

コミュニティバスの利用状況（利用者アンケート結果から）



女性の回答が概ね8割を占めています。
年齢別では65歳以上の方の回答が9割を占めています。

◎ 回答者の満足度

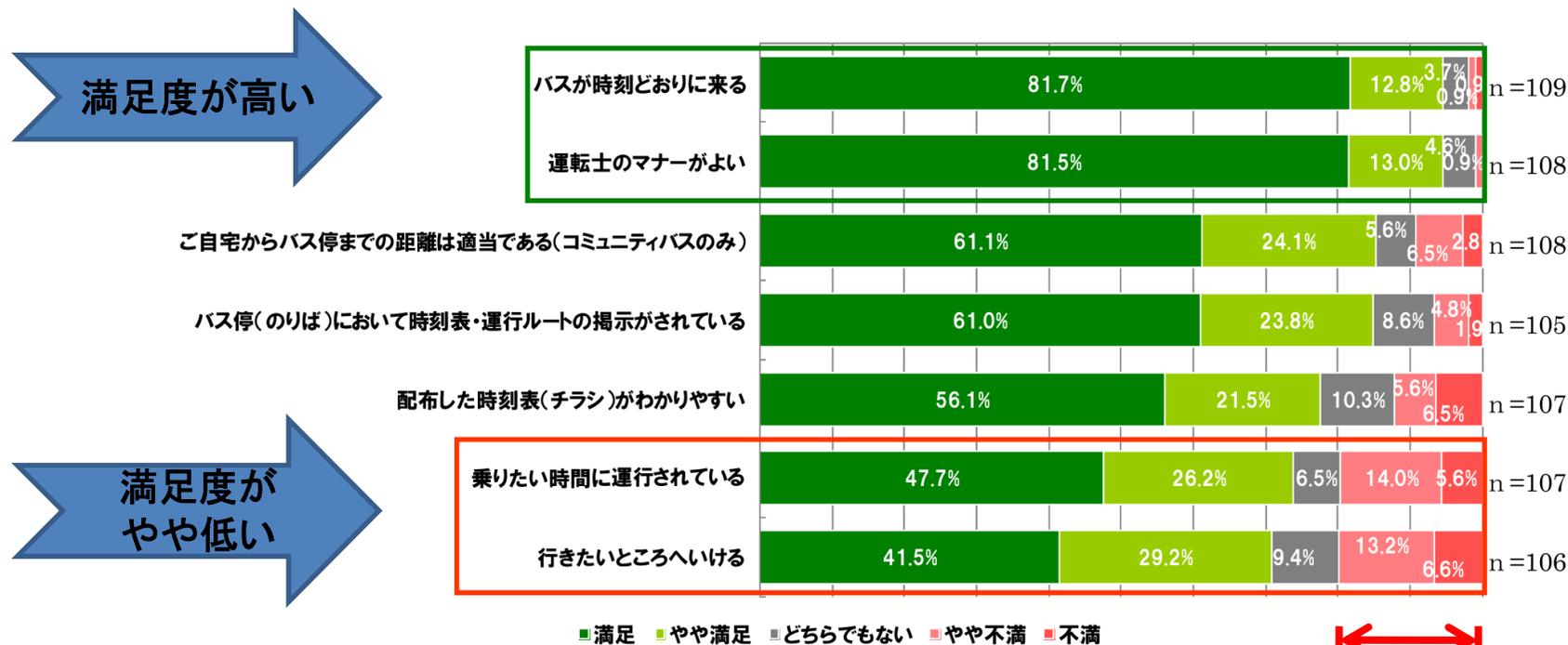


図 3.5.1 バス・乗合タクシーに関する満足度

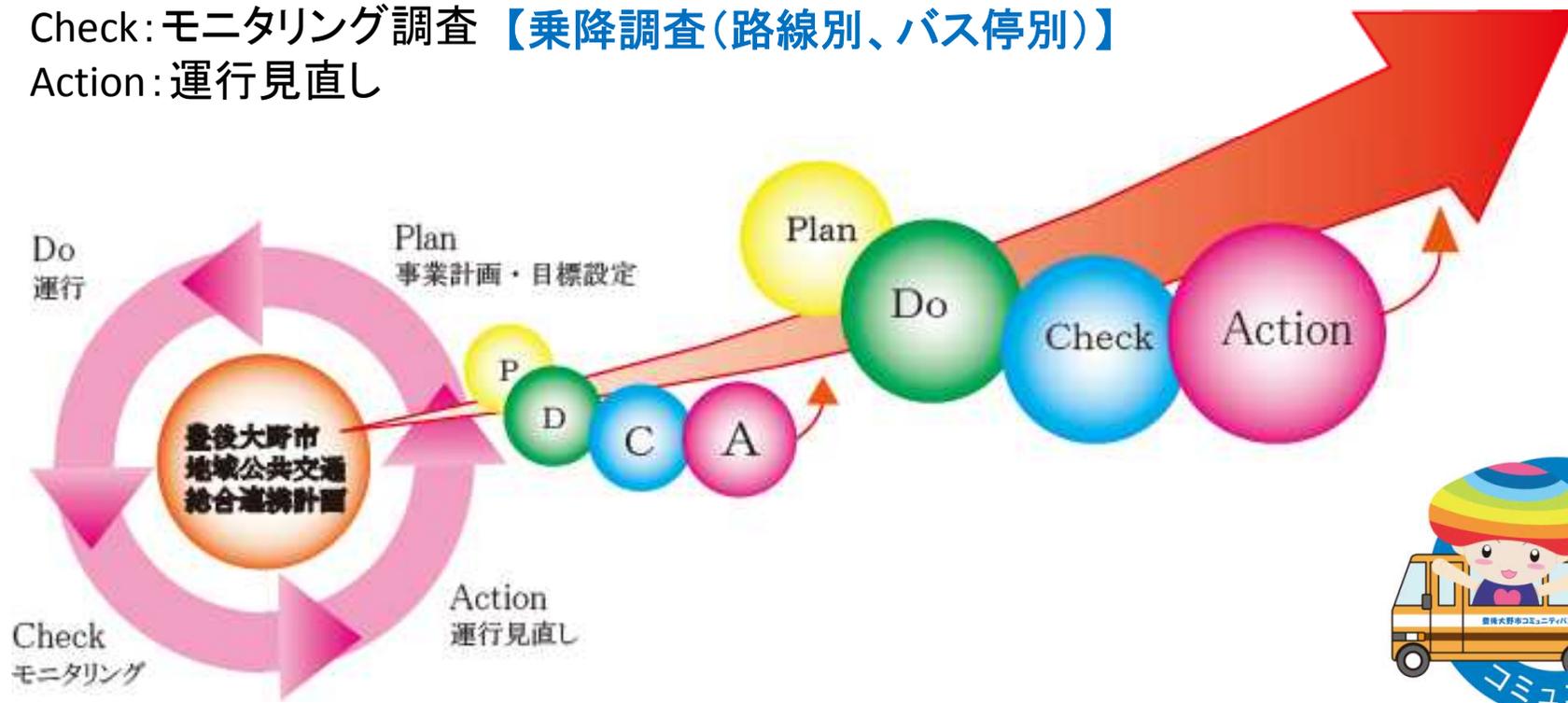
← 満足度が低い ←
 やや不満・不満



運行見直し体系図

- Plan : 事業計画の作成、【運行計画の作成、町別の時刻表作成】
利用目標の設定 【トリガー制度】
- Do : 運行 【サポーター制度(バス停コンテスト)】
【モビリティ・マネジメント】
- Check: モニタリング調査 【乗降調査(路線別、バス停別)】
- Action: 運行見直し

利用率の向上
効率的な運行





地域の取組み …… 地域のバスを守る取組み



路線を維持するために住民どおしで声をかけあい、バスを積極的に利用しています。
角門地区(8戸 15人) バス停別利用者数 13.11人/日(24年4月)



地域みなさんが積極的にバスを利用する取り組み -三重町角門地区-

- 8戸15人から構成される集落
- 集約型（バス停からおよそ100m圏内に全戸が集約）
- ほとんどが高齢者
- 大きな通りに入るまで、かなりカーブの多い狭い道路を通る必要がある
- 女性はほとんど免許を保有していない
- バスが乗入れるまでは、バイクかタクシー利用（1500円程度）

※今後、集落を①高齢化率②独居率③免許保有率④中心地までの距離⑤道路形状などの項目から分析して、利用状況との相関関係を調査することを検討。



図1 角門集落(住宅地図より抜粋)

写真1 集落に着くまでには狭いカーブの多い道路を通らなければならない



写真2 ヒアリングにご協力いただいた集落の方々



写真3 コミュニティバスの到着



-三重町角門地区-

(2) 現在の利用状況と要望等

- 1 便目 (8 : 10 角門発) の利用が多い (通院利用)、帰りはバラバラ
- 週 2 回の運行に合わせて外出 (以前より外出頻度は上がった)
- 時刻表の使い方やバスの利用の仕方など、お互い話しながら、利用するバスに線を引くなどして利用促進を図った。
- バスの時間に合わせて施設 (病院や郵便局等) を開けてほしい (冬場等)
- 回数券が市役所の 4 階でしか購入できないので、改善してほしい
- 病院送迎に切り替える人もいて、最近では 10 人前後から 5~6 人に利用減少 (ドア・トゥ・ドアが求められている)

(3) 積極的に利用するようになった理由・経緯

①危機意識

利用しないと、公共交通手段がなくなることに対する危機意識を個々人が持っている。リーダーは特に存在しない (それぞれが自主的に公共交通の利用意識を持つ)

②経済性・利便性

これまでタクシーを使って費用がかかっていたのが、安価で移動できるようになった。

外出にあたって目的地近くまで行けるなど利便性が向上した。

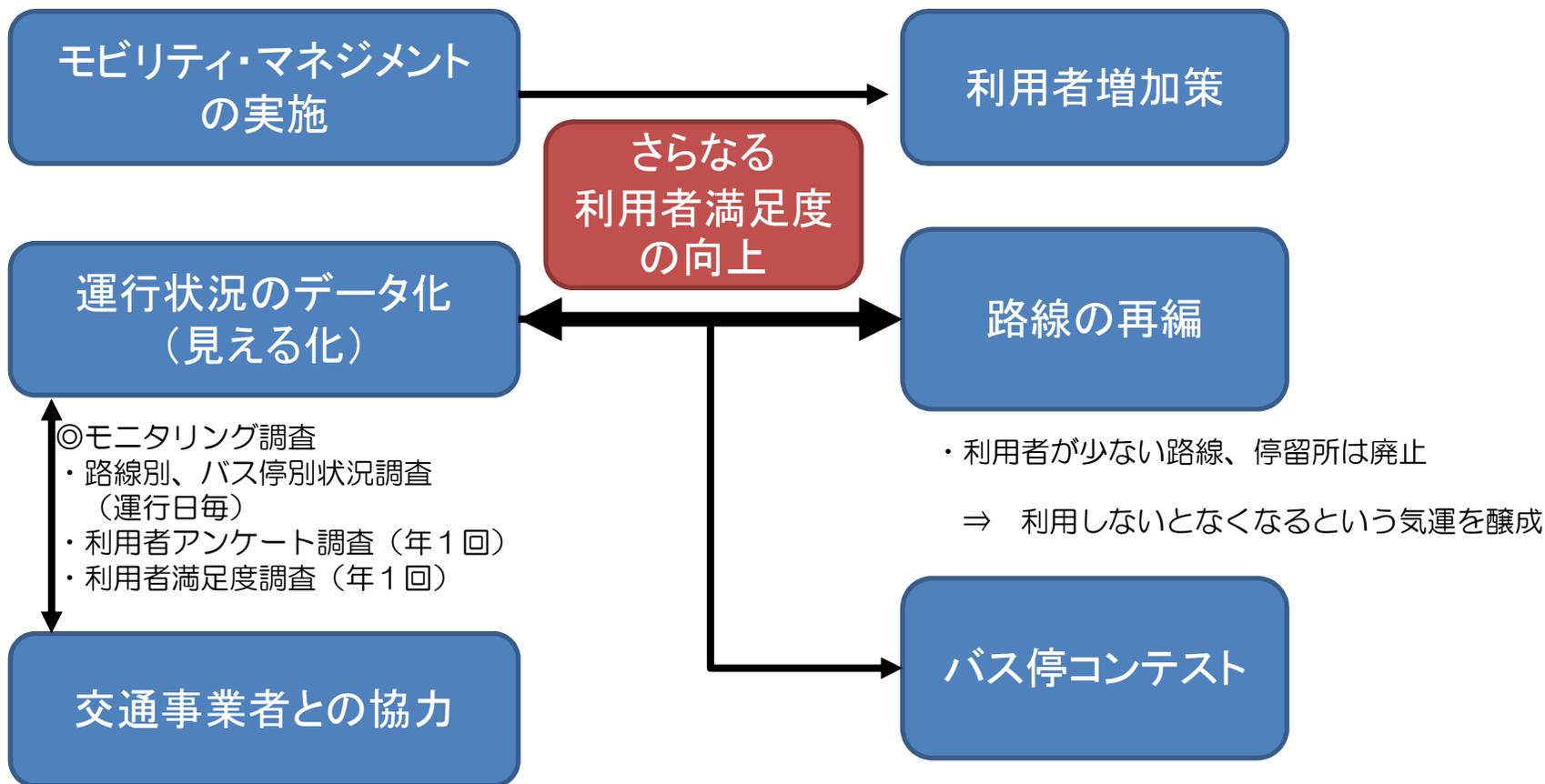
③生きがいづくり

バスの中で違う地域の新たな仲間 (バス友) と知り合うことができた。

「乗り合っ出てかけることの楽しさ」や「市の広報で紹介されるなど、話題になることの喜び」などの要因も考えられる。



豊後大野市公共交通活性化の取り組み



- ・バス停の維持管理に協力していただいた団体を表彰
- ・1年間で利用者が多かった停留所を表彰

住民意識の高揚



利用促進に向けた新たな取り組み

—これまで—

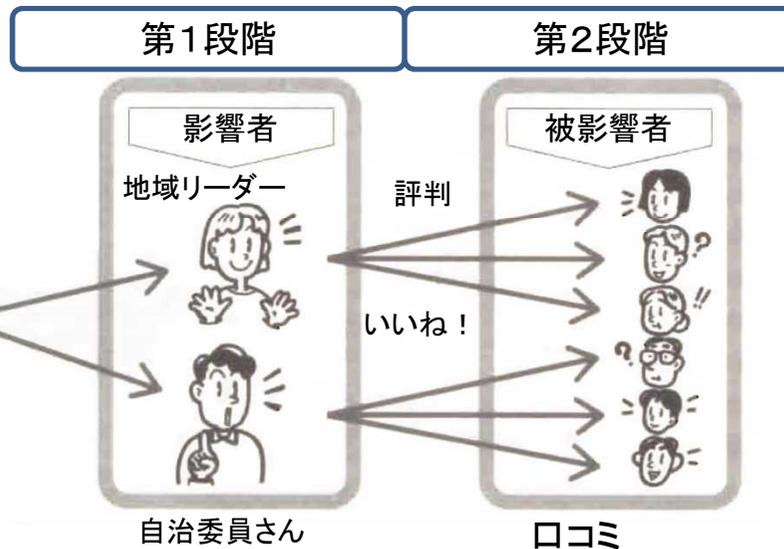
時刻表・マップの全戸配布



バスの
情報



車両のラッピング



・利用者は増加してきた。

・「バスを利用しなければ不便になる」という意見をよく聞くようになった。

・みんな「バスは必要」だと理解してきている。

九州運輸局2013シンポジウム(大井先生まとめ)より

常識をあえて見直してみる

- ・ 不便だから乗らない ⇒ 実は不安(知らない)からだった。
- ・ 「移動」を考えるのではなく「目的」を考える。



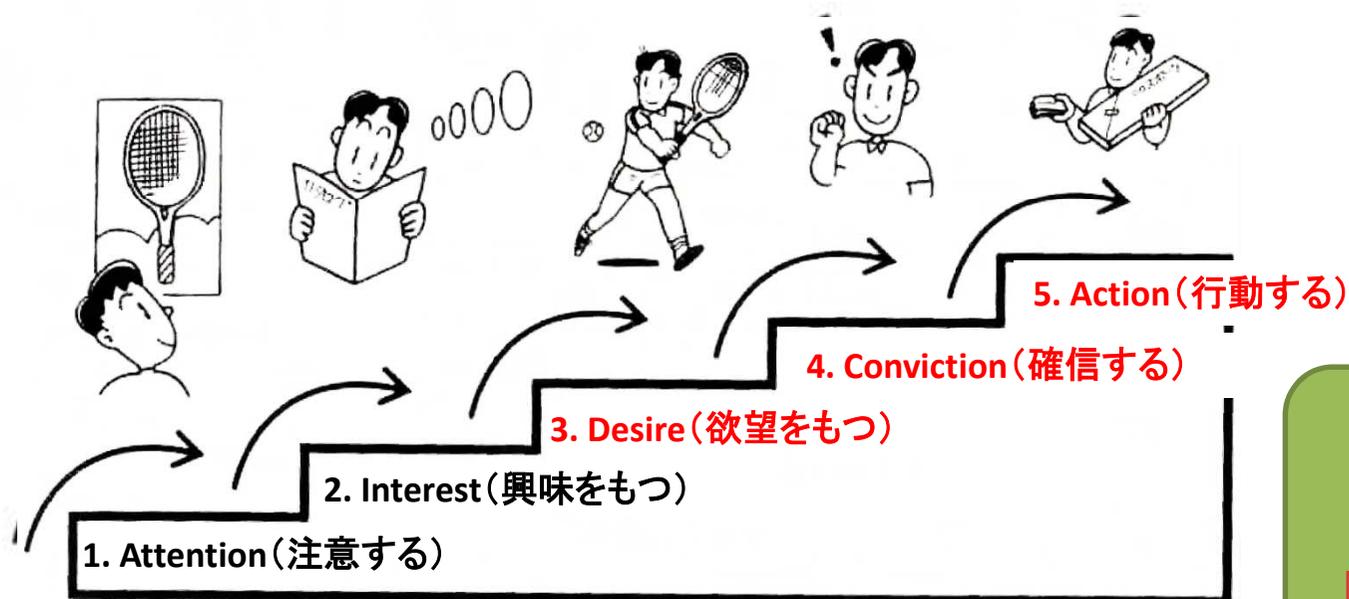
利用促進に向けた新たな取り組み

—公共交通を活用した“おでかけ”を「プロモーション」—

※プロモーション

…販売の促進や増進を図って直接的・間接的に起こす各種の活動

—不安の解消—



お出かけの演出

「これはいい」という
確信をもってもらう



「公共交通を使った
おでかけ」のため
のきっかけづくり

「大人の社会見学」

—AIDCA(アイドカ)の法則—

見込み客が商品・サービスなどを購入・利用するに至るまでの心理の動きをあらわした法則

公共交通を活用した“おでかけ”きっかけづくり

「大人の社会見学」

事業のねらい：日々の生活に公共交通を

-平成26年9月30日、10月1日-

参加者：千歳町 11名、朝地町 15名

実施主体：豊後大野市、大分大学大井ゼミ

協力：千歳町地域婦人会、朝地町民生委員
市保健師、市民病院、運行事業者

プログラム(9月30日のプログラムを抜粋)

1. 実際に走行しているバスのダイヤにあわせて乗車会を実施
(参加者にはバスの到着予定時間票を配布)
(乗車、下車、車内の案内は大学生がサポート)
2. 体験プログラム
 - ① 健康教室(市保健師)
 - ② 食事づくり教室&みんなでランチ!
(講師 千歳町婦人会)
 - ③ バスを積極的に使っている「角門地区」の紹介
3. 自由時間(三重町内で買い物。お買い物には大学生が同行)
4. コミュニティバス停留所から自宅周辺の停留所へ
5. 学生によるヒアリング

参加費：600円(バスの運賃(実費))



将来を見すえた公共交通を考えるにあたって…

① 状況を把握する

- ・ モニタリング調査 : 利用者の動向を知る ⇒ 利用者の動向に沿ったダイヤ変更が可能
- ・ 乗務員、事業所との対話をする
- ・ 国・県など制度政策の変化に敏感になる

② なくなるかもしれない危機感の醸成とインセンティブを明確にする

- ・ トリガー制度 : 使わなければなくなる。みんなで守り育てる機運につなげる
- ・ バス停コンテスト(表彰制度) : 協力していただいた方に感謝する

③ 複数の改革を同時に行わない

- ・ 自らの失敗談 … ダイヤ改正、ルート変更、新たな取り組みetc...中途半端になる

④ 「win-win」の関係づくり

- ・ 事業者の皆さんや関係者のみなさんを尊敬し、お互いが必要とされる関係へ儲かる仕組みづくりを一緒に考える(自治体だけが経費削減でいいの?)
- ・ 国(運輸局・支局)、県、市町村、事業者のみなさん、庁内担当者(スクールバス)などとの連携
- ・ 関わったみなさんに「光」をあてる ⇒ 輝く ⇒ 誇りを取り戻す。自信を深めてもらう

⑤ 最初から成功するわけがなく、また成功も長く続くわけではない

- ・ 自治体がつくる交通計画はコンサルタントや大学の先生が“つくってくれる”ものではありません
- ・ 「計画の見直し」は必要 → 最初に作った計画(P)は社会情勢の変化で役にたたないものになるかも…
- ・ 運行内容の見直しを継続して行う(P・D・C・A) ⇒ 記憶され、親しまれる ⇒ イメージアップ

「業」を継承していく

バス路線維持に腐心

コミュニティバスに乗り出して掛ける中尾地区住民た。路線が地区に新設され、喜んで豊後大野市三重町



過疎地の公共交通事情

列車や民間のバス路線が無い「交通空白地域」の多い豊後大野市。過疎高齢化の進行具合から「日本の40年先の姿」とも呼ばれ、2012年からコミュニティバスと相乗りタクシーの運行を始めた。現在、高齢者を中心に利用が定着しつつあるが、一部では利用が少なく運行コストもかさみ、維持が困難になった地域もある。同市の実情と取り組みを追った。

深緑の木々に囲まれ、響くのは鳥のさえずりばかり。でもいざ無くなると何り。同市清川町平石の山中で一人暮らしをする大神ヤエコさん(86)方の前には、「笹津留バス停」には、今年4月からコミュニティバスが来なくなった。利用が少ないのが理由だ。同町では本年度、通学用と町中心部から隣町にある市民病院を結ぶ路線を除く、全4路線が廃止された。市の調査では、12年10月からの1年間で4路線の利用者は延べ815人。1人当たりの運行経費は平均約8千円で、バスが走れば走るほど赤字が膨らむ計算になる。代わりに相乗りタクシーの運行が始まった。

通院や買い物で月に数回バスに乗っていた大神さんは「乗客が少ないとバスは無くなる」と言われていたが、特に気にしていなかった。でもいざ無くなると何り。同市清川町平石の山中で一人暮らしをする大神ヤエコさん(86)方の前には、「笹津留バス停」には、今年4月からコミュニティバスが来なくなった。利用が少ないのが理由だ。同町では本年度、通学用と町中心部から隣町にある市民病院を結ぶ路線を除く、全4路線が廃止された。市の調査では、12年10月からの1年間で4路線の利用者は延べ815人。1人当たりの運行経費は平均約8千円で、バスが走れば走るほど赤字が膨らむ計算になる。代わりに相乗りタクシーの運行が始まった。



豊後大野市のコミュニティバス、相乗りタクシー
2012年1月から実証運行、今年4月から本格運行を始めた。バスは利用料200～300円。予約に応じて、規定の運行時間内に利用できるデマンド(要望)型のタクシーは300～600円。既存の民間業者の営業を妨げないよう、路線は交通空白地域を中心に設定している。

声掛け合い積極利用

人が集まった。皆一人暮らし。動販売車は、2年前ほどか、次第に「帰りは荷物が無い高齢女性。やがて到着から来なくなった。そのため、増えるから、歩くのがきつくなった。バスに乗りたい。住民は約50人」という声が上がりが始まり、安心して暮らせる。地区0.1離れた地区外のバス停まで歩き、バスに乗って買。昨年、市に要望。4月に「保持したい」と話した。(平尾将俊)



豊後大野市清川町の中尾で一人暮らしをする大神ヤエコさん。自宅前のバス停には4月からコミュニティバスが来なくなった。豊後大野市清川町平石

「トリガー方式」。豊後大野市が導入している地域公共交通を維持するための方法だ。「トリガー」は引き金を意味し、路線やバス停ごとに1日当たりの平均利用人数の目標値を設定。それを下回ると見直しや廃止という「弾丸」が発射される。バス停については運行日当たり0.1人未満と設定している。市まちづくり推進課は「あくまでも公共交通をみんな使ってもらうための目標値。厳しい基準にはしない」と説明する。昨年度の関連事業費は計

目標の乗客数設定

豊後大野市 下回れば廃止も

約5800万円。一方、運行行政による地域公共交通費で得た営業収入は約500万円の運営は、過疎地など採算最も少ない路線の1人当たりの運行経費は7万5855円。税金を3円にも上げる。近年の燃料の高騰も悩みの種で、利便性の財政も厳しい中で、利便性を損なわないよう本日に議論することが大事と話し、必要などころに力を入れた。同課。日本文理大学の吉村充功教授(交通計画)は市の取組について「数値目標は車の運転が難しくなっているのが大変なところ。公共交通の良い」と評価。一方で「大の在り方を人ごとと考え事なのは、市民がこの数値を、地域で長期的な議論をに納得するかだ」と指摘。必要だ」と強調した。

大分県内初！ 国土交通大臣表彰受賞



これからも地域の皆さんの声により耳を傾け、コミュニティ（地域社会）の活性化と愛される公共交通を目指します



平成26年度 第1回豊後大野市地域公共交通活性化協議会にて 協議会委員、大分大学大井ゼミのみなさんと事務局(まちづくり推進課)、コンサルタント(日本工営株式会社) 平成26年7月11日

ご清聴ありがとうございました

